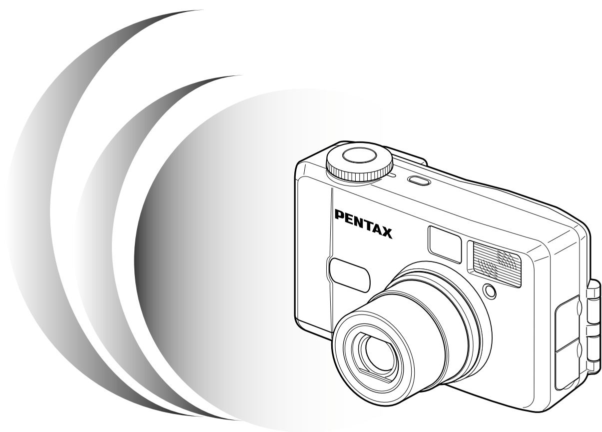
PENTAX

デジタルカメラ

Optio 230

使用説明書



カメラの正しい操作のため、ご使用前に
必ずこの使用説明書をご覧ください。

はじめに

このたびは、ペンタックス・デジタルカメラOptio 230をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品の機能を充分活用していただくために、ご使用になる前に本書をよくお読みください。また、本書をお読みになった後は必ず保管してください。使用方法がわからなくなったり、機能についてもっと詳しく知りたいときにお役に立ちます。

著作権について

本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

本機を使用するにあたって

・強い電波や磁気を発生する施設などの周囲では、カメラが誤動作を起こす場合があります。
・液晶モニタに使用されている液晶パネルは、非常に高度な精密技術で作られています。99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。なお、記録される画像には影響ありません。

商標について

CompactFlash、コンパクトフラッシュおよびCFはSanDisk Corporationの商標です。
PENTAXは旭光学工業株式会社の登録商標です。
オプティオおよびOptioは旭光学工業株式会社の商標です。
その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。
USBドライバは米国フェニックステクノロジー社のソフトウェアを使用しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書にしたがって、正しい取り扱いをしてください。

本文中のイラストおよび液晶モニタの表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。

ご注意ください

この製品の安全性については充分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。



このマークの内容を守らなかった場合、使用者が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。



このマークの内容を守らなかった場合、使用者が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性があることを示すマークです。



警告

・カメラを分解・改造などをしないでください。カメラ内部に高電圧部があり、感電の危険があります。
・落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手をふれないでください。感電の危険があります。
・ストラップが首に巻き付くと危険です。小さなお子様がストラップを首に掛けないようにご注意ください。
・ACアダプタは、必ず専用品を指定の電源・電圧でご使用ください。専用品以外のACアダプタをご使用になったり、専用のACアダプタを指定以外の電源・電圧でご使用になると、火災・感電・故障の原因になります。
・使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、電池またはACアダプタを取り外したうえ、サービス窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
・ACアダプタ使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグをはずし、使用を中止してください。機器の破損・火災・感電の原因となります。



注意

・電池をショートさせたり、火の中に入れないでください。また、分解しないでください。破裂・発火の恐れがあります。
・万一、カメラ内の電池が発熱・発煙を起こした時は、速やかに電池を取り出してください。その際は、やけどに充分ご注意ください。
・このカメラには、使用していると熱を持つ部分があります。その部分を長時間持ちつづけると、低温やけどを起こす恐れがありますのでご注意ください。

取り扱い上の注意

- 長時間使用しなかったときや、大切な撮影（結婚式、旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得べかりし利益の損失など）については、保証しかねます。
- このカメラはレンズ交換式ではありません。レンズの取り外しはできません。
- 汚れ落としに、シンナーやアルコール・ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 高温多湿の所は避けてください。特に車の中は高温になりますのでご注意ください。
- 防虫剤や薬品を扱う所は避けてください。また、カビ防止のためケースから出して、風通しの良い所に保管してください。
- このカメラは防水カメラではありませんので、雨水などが直接かかる所では使用できません。
- 強い振動・ショック・圧力などを加えないでください。オートバイ・車・船などの振動は、クッションなどを入れて保護してください。
- 約60℃の高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答が遅くなることもありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。
- 高性能を保つため、1～2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。
- 急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露し水滴を生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。
- カメラの使用温度範囲は0℃～40℃です。
- ゴミや泥・砂・ホコリ・水・有害ガス・塩分などがカメラの中に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、よく拭いて乾かしてください。
- コンパクトフラッシュメモリカード（CFカード）の取り扱いについては、「CFカード使用上の注意」（p.14）をご覧ください。

目次

本書の構成

本書は、次の章で構成されています。

●準備
お買い上げ後、写真を撮るまでの準備操作について説明しています。必ずお読みになり、撮影をはじめる前に、操作を行なってください。

●クイックスタート
一番簡単な撮影方法と再生方法を説明しています。すぐに撮影・再生をしたいときは、この操作方法をご利用ください。また、CFカードの活用方法についてご案内しています。

●機能共通操作
モードダイヤルや各ボタンの機能、メニューの使い方など、各機能に共通する操作について説明しています。詳しい内容は、「撮影」「再生・消去」「設定」の各章をご覧ください。

●撮影
さまざまな撮影の方法や、撮影に関する機能の設定方法について説明しています。

●再生・消去
カメラ・テレビでの再生の方法や消去のしかたを説明しています。

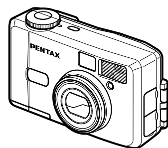
●設定
カメラに関する機能の設定方法について説明しています。

●付録
困ったときの対処のしかたや、別売品の案内をしています。

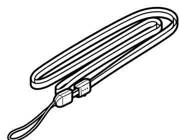
●操作説明中で使用されている表記の意味は次のようになっています。

	関連する操作の説明が記述されているページを記載しています。
メモ	知っておくと便利な情報などを記載しています。
注意	操作上の注意事項などを記載しています。

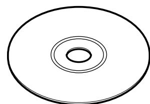
同梱品の確認



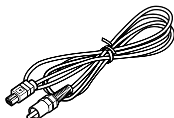
本体
Optio 230



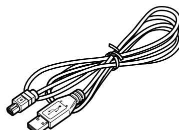
ストラップ
O-ST5



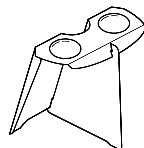
ソフトウェア（CD-ROM）
S-SW5



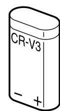
ビデオケーブル
I-VC2



USBケーブル
I-USB2



3Dイメージビュワー
O-3DV1



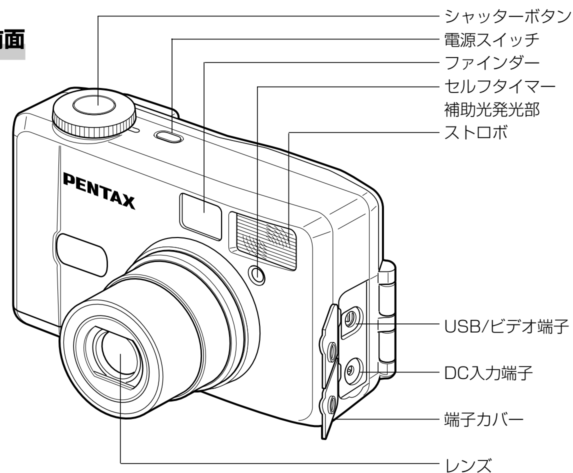
リチウム電池
CR-V3



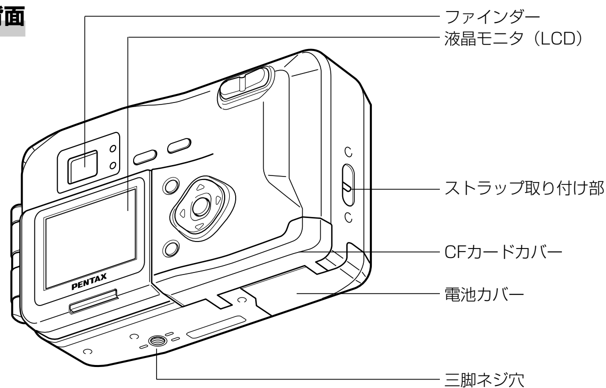
使用説明書
（本書）

各部の名称

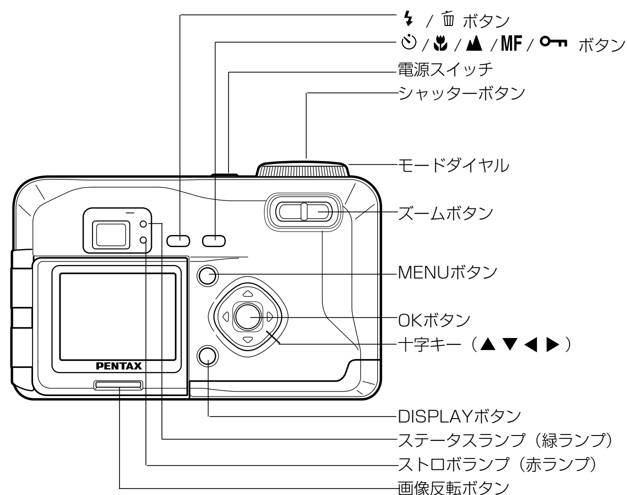
前面



背面



操作部の名称

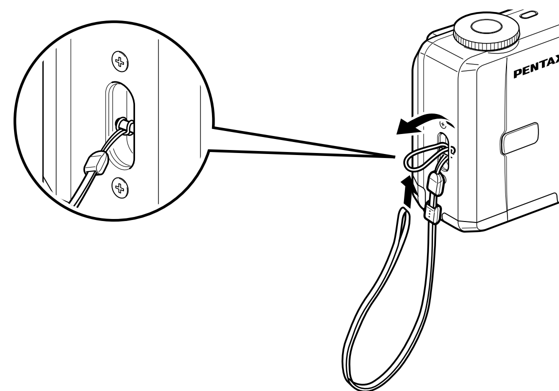


●ガイド表示について

操作中は液晶モニタにボタン操作のガイドが表示されます。
ガイド表示では、ボタンは次のように表されます。

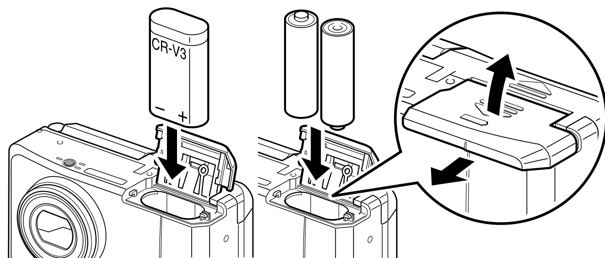
十字キー（▲）	▲	ズームボタン（デジタルズーム、拡大再生時のみ）	🔍
十字キー（▼）	▼	DISPLAYボタン	DISP
十字キー（◀）	◀	🗑 ボタン	🗑
十字キー（▶）	▶	O-π ボタン	O-π
MENUボタン	MENU	シャッターボタン	SHUTTER
OKボタン	OK	画像反転ボタン	↻

ストラップを取り付ける



ストラップの細いひもを、ストラップ取り付け部に通して取り付けます。

電源を準備する



（CR-V3の場合）　（単３電池の場合）

電池をセットする

カメラに電池をセットします。はじめてご使用になるときは、新しい電池をセットしてください。

1 電池カバーを水平方向にずらして、引き上げる

2 電池の向きを電池室内の ⊕⊖ 表示に合わせて、挿入する

3 電池カバーを引き下げて、水平方向に押し込む



長時間ご使用になるときは、ACアダプタキットK-AC5Jをご使用ください。（→p.12）。



- 電源スイッチがオンのときは、電池カバーを開けたり、電池を取り出したりしないでください。
- カメラを長時間使用しない場合は、電池を取り出した状態で保管してください。
- 電池を長時間取り出していると、日時の設定がリセットされることがあります。
- 電池は正しく入れてください。間違った向きに入れると、故障の原因になります。

●使用時間の目安（電池交換時）

		撮影画像数		再生時間
		液晶モニタオン	液晶モニタオフ	
ストロボ使用率50%	CR-V3	約500枚	約650枚	−
	単３リチウム	約400枚	約450枚	−
	ニッケル水素	約200枚	約250枚	−
	単３アルカリ	約100枚	約200枚	−
ストロボ使用しない	CR-V3	約600枚	約850枚	約240分
	単３リチウム	約450枚	約650枚	約180分
	ニッケル水素	約250枚	約300枚	約100分
	単３アルカリ	約150枚	約300枚	約30分

- この数値は、当社の測定条件によるものです。撮影モード、撮影状況により異なります。

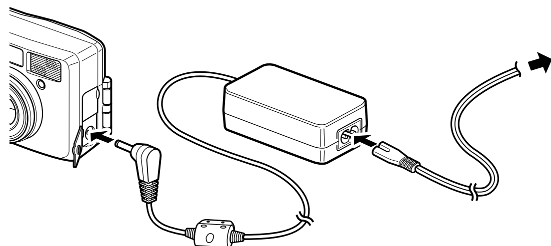


使用環境温度が下がると、電池の性能が低くなることがあります。

●電池の残量表示

液晶モニタに表示された ▭ で、電池の残量を確認できます。

▭（緑点灯）	：	電池がまだ十分に残っています。
↓		
▭（黄色点灯）	：	半分に減った状態
↓		
▭（赤点灯）	：	残量がほとんどありません。
↓		
「電池容量がなくなりました」	：	メッセージの表示後、電源オフとなります。



ACアダプタを使用する

液晶モニタを長時間ご使用になるときや、パソコンと接続するときは、ACアダプタキット K-AC5J（別売）のご使用をおすすめします。

1 カメラの電源が切れていることを確認してから、端子カバーを開ける
2 ACアダプタのDC端子を、カメラのDC入力端子に接続する
3 ACコードをACアダプタに接続する
4 コンセントに電源プラグを差し込む

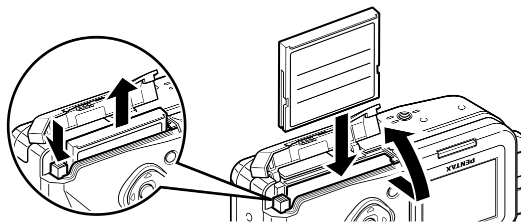


ACアダプタを使用している場合、電池残量は液晶モニタに表示されません。



- ACアダプタを接続または外すときは、必ずカメラの電源が切れた状態で行なってください。
- 電源および接続ケーブルは、しっかりと差し込んでください。記録中にケーブルがはずれると、データが破壊されることがあります。
- ACアダプタをご使用になるときは、ACアダプタキット K-AC5J の使用説明書をあわせてご覧ください。

CFカードをセットする／取り出す



撮影した画像は、コンパクトフラッシュ（CF）カードに記録されます。CFカード（市販品）をセットするときや取り出すときは、必ず電源をオフにしてください。

セットする

1 CFカードカバーを開ける
2 CFカードの▲面をレンズ側に向け、奥まで押し込む
3 CFカードカバーを閉じる

取り出す

1 CFカードカバーを開ける
2 CFカード取り出しボタンを押し、カードを取り出す
3 CFカードカバーを閉じる



- 電源がオンのときに、CFカードカバーを開けると、警告音が鳴り、強制的に電源オフになります。
- 画像を保存中にCFカードカバーを開けると、保存は中断されます（画像は保存されません）。

●記録サイズ/画質と撮影可能枚数の目安

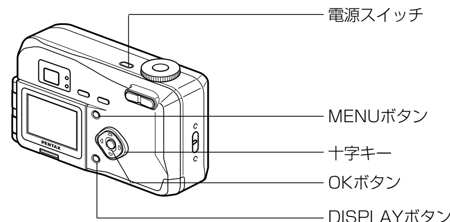
画質 / 記録サイズ	TIFF	S.ファイン / ★★★	ファイン / ★★	エコノミー / ★	動画 (320×240)
1600×1210	2	–	–	–	30秒×2セット
1600×1200	–	14	29	64	
1024×768	–	26	53	94	
640×480	–	53	94	133	

・表の数値は、16MBのCFカードを使用した場合の枚数です。
・この数値は、当社で設定した標準撮影条件によるもので、被写体、撮影状況、撮影モード、使用するCFカードなどにより変わります。

●CFカード使用上の注意

・CFカードカバーを開けるときは、必ず電源を切った状態で行なってください。
・カメラ使用直後にCFカードを取り出すと、カードが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
・CFカードへのデータ記録中や、他の機器との通信中には、CFカードカバーを開けたり電源を切ったりしないでください。データの破損やカードの破損の原因となります。
・CFカードは、曲げたり強い衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり、高温になる場所に放置しないでください。
・未使用または他のカメラで使用したカードは、必ずフォーマットしてからご使用ください。フォーマットについては「CFカードをフォーマットする」(p.100)をご覧ください。
・CFカードのフォーマット中は、絶対にCFカードカバーを開けないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
・Optio230でCFカードに記録されたデータは、Optio330、Optio430では正しく再生されません。また、Optio330、Optio430で記録されたデータは、Optio230では正しく再生されません。
・CFカードに保存したデータは、以下の条件で消去される場合がありますので、ご注意ください。消去されたデータについては、当社では一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
　・使用者がCFカードの取り扱いを誤ったとき
　・CFカードを静電気や電気ノイズのある場所に置いたとき
　・長期間カードを使用しなかったとき
・CFカードアクセス中に(ステータスランプとストロボランプが、緑と赤に点滅しているときに)、カードを取り出したり、ACアダプタやバッテリーを抜いたとき
・CFカードには寿命があります。長期間使用しない場合は、保存したデータが読めなくなることがあります。必要なデータは、パソコンなどへ定期的にバックアップを取るようにしてください。
・静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用や、保管は避けてください。
・急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光のあたる場所での使用や保管は避けてください。

初期設定をする

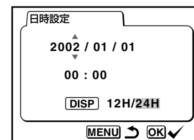


カメラの電源を入れたときに、初期設定を行う画面が表示された場合は、下記の手順にしたがって、現在の日時を設定してください。なお、はじめてカメラの電源を入れたときに、液晶モニタの右下に日時が表示された場合は、「日付/時刻を変更する」(p.102)にしたがって、正しい日時を設定してご使用ください。

日時を設定する

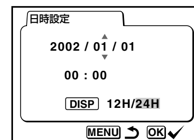
現在の日付と時刻を設定します。

1 十字キー(▲▼)を押して、西暦年を設定する



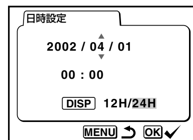
2 十字キー(▶)を押す

「月」の上下に▲▼が表示されます。



3 十字キー（▲▼）で月を設定し、十字キー（▶）を押す

「日」の上下に▲▼が表示されます。



4 **3**を繰り返して、「日」「時」「分」を設定する



5 DISPLAYボタンで「12時間/24時間表示」を切り替える

6 設定が終了したら、時報と同時にOKボタンを押す

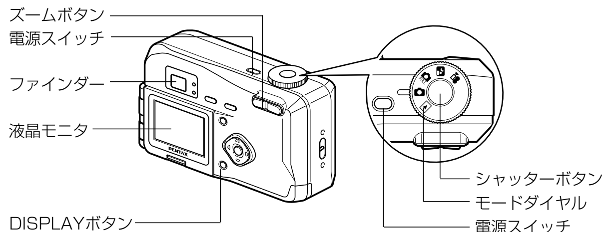
設定内容を確認する画面が表示され、撮影できる状態になります。





- MENUボタンを押すと、初期設定がキャンセルされますが、撮影することはできます。この場合は、次回電源を入れたときに再度、初期設定を行う画面が表示されます。
- ここで設定した内容は、設定後も変更することができます。操作方法は「日付/時刻を変更する」（p.102）をご覧ください。

静止画を撮影する



簡単に静止画を撮影します。ストロボは明るさに応じて自動的に発光します。

1 **電源スイッチを押す**

電源がオンになります。

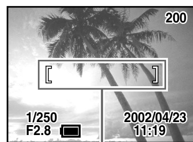
2 **モードダイヤルを 📷 に合わせる**

3 **液晶モニタをオンにする**

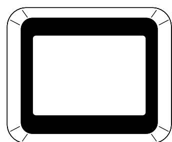
DISPLAYボタンを押して液晶モニタに撮影画面を表示させます。液晶モニタ中央のフォーカスフレームの中が、自動でピントが合う範囲です。ズームボタンを押すと被写体の大きさが変わります。

- 被写体が大きく写ります。
- 被写体が小さく写ります。

ファインダーをのぞいて、被写体の大きさを確認することができます。



フォーカスフレーム


ファインダー



フォーカスフレームはファインダー内には表示されません。ピントを合わせる範囲は、必ず液晶モニタで確認してください。

4 **シャッターボタンを押す**

撮影した画像が液晶モニタに0.5秒間表示（クイックビュー）されます。撮影した画像は、CFカードに保存されます（CFカードに保存中はファインダー横の緑と赤のランプが交互に点滅します）。

シャッターボタンの押しかた

シャッターボタンは「半押し」と「全押し」の2段階になっています。

●半押し

シャッターボタンを軽く押すと（半押し）、ピント情報、露出、ホワイトバランスがロックされます。シャッター速度、絞り値は、シャッターボタンを半押ししたときだけ表示されます。液晶モニタやステータスランプ、ストロボランプは次のような情報を表します。

① ピント合わせが行なわれる範囲（AFエリア）

ピントが合うと枠が緑色に点灯します。ピントが合っていないときは表示されません。

② ストロボマーク

シャッターを切るときのストロボの発光状態を表示します。

ステータスランプとストロボランプの状態

	ステータスランプ（緑）	ストロボランプ（赤）
点灯	ピントが合っています	充電完了（ストロボ発光表示）
点滅	ピントが合っていません	充電中

●全押し

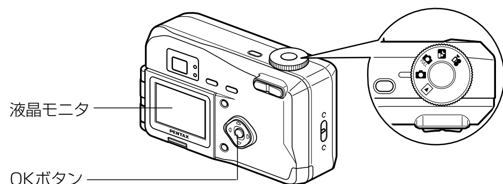
シャッターボタンを下まで押すと（全押し）、撮影されます。

クイックビュー

撮影直後に画像が表示される「クイックビュー」は、初期設定では0.5秒間表示されます。クイックビュー表示中に 🗑 ボタンを押すと、「消去」メニューが表示されます。「消去」を選び、OKボタンを押すとその画像を消去することができます。

クイックビューの表示時間を設定する ☞ p.62

静止画を再生する



最後に撮った画像を再生する（ワンタッチビュー）

最後に撮影した静止画を再生します。

1 撮影後にOKボタンを押す

最後に撮影した画像が液晶モニタに表示されます。画像表示中に 🗑 ボタンを押すと、「消去」メニューが表示されます。「消去」を選び、OKボタンを押すとこの画像を消去することができます。

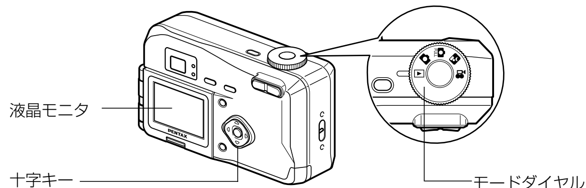


もう一度、OKボタンを押すと、撮影できる状態に戻ります。



液晶モニタに表示された画像は、ズームレバーで拡大して見ることもできます。

拡大して再生する ☞ p.68



撮った画像を一枚ずつ再生する

撮影した静止画を一枚ずつ再生します。

1 モードダイヤルを ▶ に合わせます。

撮影した画像が液晶モニタに表示されます。

2 十字キー（◀ ▶）を押します。

 前の画像が表示されます。

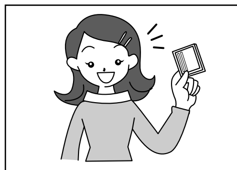
 次の画像が表示されます。



- 動画は、１コマ目の画像が表示されます。
- 画像がCFカードに保存されていないときは、「画像がありません」と表示されます。また、CFカードがカメラに入っていないときは、「カードが入っていません」と表示されます。

CFカードの活用方法

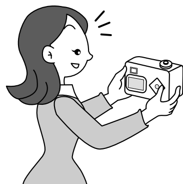
Optio230で撮影した画像はCFカードに記録されます。CFカードに記録された画像は、Optio230本体で見たり、パソコンに転送したり、プリントしたりできます。



カメラで見る

デジタルカメラの便利なところは、撮ったその場ですぐに画像を確認できること。構図や明るさを確認して、失敗してもまた撮り直しできます。

静止画を再生する ☞ p.68



テレビで見る

みんなでわいわい見るときは、テレビ再生が便利。ビデオケーブルでカメラをテレビに接続すると、画像をテレビ画面で見ることができます。

テレビで画像を見る ☞ p.76



パソコンで見る

USBドライバのインストールは最初の１回だけ、後はカメラをUSBケーブルで接続して、画像を読み込ませるだけで、撮った画像をパソコンで見たりパソコンに転送して加工したりできます。また、カメラからCFカードを取り出してカードリーダを使ってデータを転送したり、ノートパソコンの場合は、CFカードをセットしたカードアダプタをカードスロットに挿入して画像データを転送できます。

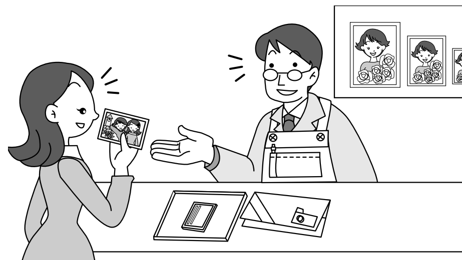
Windowsパソコンで画像を見る ☞ p.80
Macintoshで画像を見る ☞ p.95



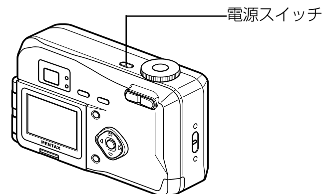
プリントサービスで見る

あらかじめ印刷したい写真やその枚数を設定したCFカードを、DPOF(DigitalPrintOrderFormat)に対応している写真店（ラボ）に持っていくと、プリント注文できます。

プリントサービスの設定をする（DPOF） ☞ p.77



電源をオン／オフする



電源スイッチのオン/オフを切り替えます。

1 電源スイッチを押す

電源がオンになります。

電源をオンにすると、レンズカバーが開き、レンズが少し前に出ます。

もう一度電源スイッチを押すと、電源がオフになります。



再生モード（▶）で電源をオンにすると、レンズカバーは閉じたままでレンズも出てきません。

モードを切り替える

撮影ができる状態を撮影モード、再生や消去ができる状態を再生モードといいます。モードはモードダイヤルで切り替えます。

撮影モード

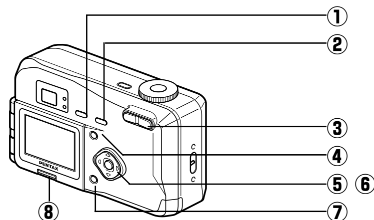
📷	オートモード	ほとんどの設定をカメラにまかせて撮影します。	p.18, 33
📷FULL	フルモード	カメラをお好みの機能に設定して撮影します。	p.34
夜景	夜景モード	夜景など暗いシーンを撮影します。	p.35
動画	動画モード	動画を撮影します。	p.38

再生モード

▶	再生モード	撮った画像を再生します。	p.68

1 モードダイヤルを回して、指標に 📷 📷FULL 夜景 動画 ▶ を合わせる

ボタンの機能を使用する



撮影モード時

① ⚡ ボタン
ストロボの発光方法を切り替えます。（ ☞ p.53）

② ⏲ 🌷 ▲ MF ボタン
撮影方法を次のように切り替えます。（ ☞ p.50）
セルフタイマー撮影（ ☞ p.37）
マクロモード（ ☞ p.50）
遠景モード（ ☞ p.50）
マニュアルフォーカス（ ☞ p.50）

③ ズームボタン
被写体の大きさを変えます（ ☞ p.40）

④ MENUボタン
撮影モードで設定できるメニューを表示します。（ ☞ p.28）

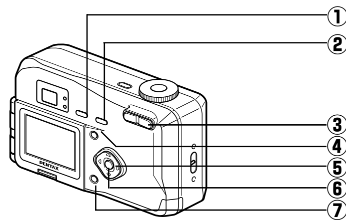
⑤ 十字キー（◀ ▶）
FULL モードで露出補正をします。（ ☞ p.52）

⑥ 十字キー（▲ ▼）
MF モードでピントを合わせます。（ ☞ p.51）

⑦ DISPLAYボタン
液晶モニタに表示される情報を切り替えます。（ ☞ p.32）

⑧ 画像反転ボタン
画像を左右反転表示します（記録される画像は反転されません）。（ ☞ p.42）

メモ MF （マニュアルフォーカス）、露出補正は、オートモード（ ）では働きません。



再生モード時

① 🗑 ボタン
画像を消去します。（ ☞ p.73）

② O-π ボタン
画像を消去できないようにします。 （ ☞ p.75）

③ ズームボタン
液晶モニタに表示される画像の大きさを変えます。（ ☞ p.68）

④ MENUボタン
再生モードで設定できるメニューを表示します。（ ☞p.28）

⑤ 十字キー（◀ ▶）
画像を一枚ずつ表示します。（ ☞ p.20）

⑥ OKボタン
一度に9画像を表示します。（ ☞ p.71）

⑦ DISPLAYボタン
液晶モニタに表示される情報を切り替えます。（ ☞ p.70）

MENUを使用する

MENUボタンを押すと、液晶モニタにメニューが表示されます。撮影モード（📷 FULL 🎬）では、撮影のための機能が設定できます。再生モード（▶）では、再生のための機能が設定できます。また、カメラに関する機能は、撮影モード、再生モードの両方で設定できます。

メニューの操作方法

メニュー操作中は、液晶モニタにガイドが表示されます。

1 MENUボタンを押す

メニュー画面が表示されます。選択されている部分は緑の四角枠で表示されます。

2 十字キー（◀ ▶）を押す

十字キー（◀ ▶）でメニュー画面が切り替わります。

3 十字キー（▲ ▼）で項目を選択する

十字キー（▲ ▼）で選択枠が上下に移動します。

4 十字キー（◀ ▶）で設定を切り替える

4′ または選択画面があるときは、十字キー（▶）で選択画面に移行します。

設定が終了したら、OKボタンでメニュー画面に戻ります。

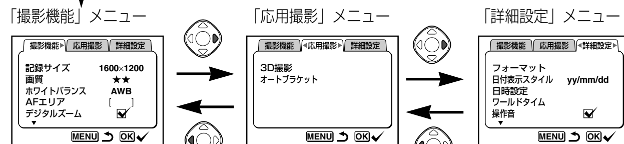
5 OKボタンを押す

設定が保存され、撮影または再生できる状態に戻ります。

注意
- OKボタンを押す前に、MENUボタンを押してメニュー画面を閉じると、設定は保存されません。
- OKボタンを押してメニュー画面を閉じても、電源をオンにしたまま電池を取り出したりするなど誤った操作で電源をオフすると設定は保存されません。

操作の一例（撮影モードの場合）

1 MENUボタン

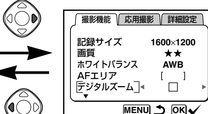


2



3 4





（例）デジタルズームをオフにする

3 4′

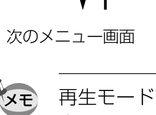
選択画面





（例）ホワイトバランスを設定する

3



次のメニュー画面



再生モードでMENUボタンを押すと再生モードのメニュー画面が表示されます。十字キー（◀ ▶）を押すと、「再生機能」メニューと「詳細設定」メニューが切り替わります。

メニュー一覧

撮影モードで設定できるメニュー

●「撮影機能」メニュー

項目	内容	初期値	オートモード	参照
記録サイズ	画像の解像度が選べます	1600 x 1200	変更可	p.54
画質	画像の圧縮率が選べます	★★	変更可	p.55
ホワイトバランス	撮影時の光の状態に合わせて色を調整します	AWB（オート）	初期値固定	p.56
AFエリア	オートフォーカスの対象になる範囲を変更します	［　］（ワイド）	初期値固定	p.58
デジタルズーム	デジタルズーム撮影ができます	☑（オン）	初期値固定	p.41
測光方式	露出を決定する測光方式を設定します	（分割）	初期値固定	p.59
ISO感度	ISO感度を設定します	Auto（オート）	初期値固定	p.60
カラーモード	カラーモードを選択します	Full（カラー）	初期値固定	p.61
クイックビュー	クイックビューの表示時間を設定します	0.5s（0.5秒）	初期値固定	p.62
モードメモリ	電源オフ時に撮影機能の設定値をメモリします		初期値固定	p.66
露出補正メモリ	電源オン時に露出補正の設定値をメモリします	□（オフ）	初期値固定	p.67
連続撮影	シャッターボタンを押している間連続して撮影します	□（オフ）	初期値固定	p.36
シャープネス	シャープネスを設定します	標準	初期値固定	p.63
彩度	彩度を設定します	標準	初期値固定	p.64
コントラスト	コントラストを設定します	標準	初期値固定	p.65

●「応用撮影」メニュー

項目	内容	初期値	オートモード	参照
3D撮影	3D写真を撮影します	平行法	なし	p.43
オートブラケット	露出や彩度など撮影条件を自動的に変えて撮影します	露出	なし	p.48

再生モードで設定できるメニュー

●「再生機能」メニュー

項目	内容	初期値	オートモード	参照
スライドショウ	保存された画像を連続して再生します	3s（3秒間隔）	なし	p.72
DPOF	プリントサービスの設定をします	なし	なし	p.77

撮影モード/再生モードで設定できるメニュー

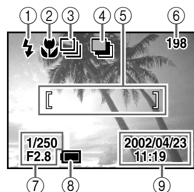
●「詳細設定」メニュー

項目	内容	初期値	オートモード	参照
フォーマット	CFカードをフォーマットします	キャンセル	変更可	p.100
日付表示スタイル	日付の表示形式を設定します	yy／mm／dd	変更可	p.101
日時設定	日付/時刻を設定します	2002/01/01	変更可	p.102
ワールドタイム	ワールドタイムを設定します	□（オフ）	変更可	p.104
操作音	ボタン操作音を設定します	☑（オン）	変更可	p.103
Language/言語	メニューやメッセージを表示する言語を切り替えます	日本語	変更可	p.102
ビデオ出力	ビデオ出力方式を設定します	NTSC	変更可	p.103
スリープ	節電機能を設定します	1分	変更可	p.106
LCDの明るさ	液晶モニタの明るさを設定します	標準	変更可	p.107
リセット	設定を初期値に戻します	キャンセル	変更可	p.107

撮影情報を表示する(DISPLAYモード)

DISPLAYオン

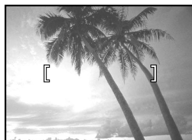
撮影情報を表示します。
① ストロボ
② フォーカスモード/セルフタイマー
③ 連続撮影　④ 応用撮影
⑤ AFフレーム　⑥ 撮影可能残量
⑦ シャッター速度/絞り値
⑧ 電池マーク　⑨ 日時





DISPLAYオフ

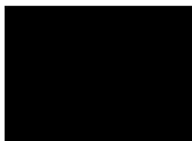
撮影情報を表示しません。
・オートフォーカス時には、AFフレームだけが表示されます。
・電池残量に変化があったときは、電池残量を表示します。
・設定を変更したときは、数秒間、設定内容を表示します。





液晶モニタオフ

液晶モニタをオフにします。





DISPLAYオン

DISPLAYモードの設定を保存する ☞ p.66

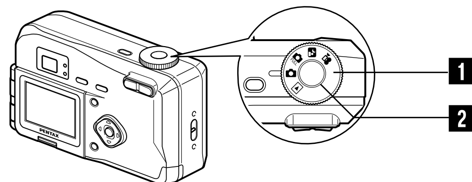


ACアダプタを使用している場合は、電池残量は液晶モニタに表示されません。



動画モードでは、液晶モニタはオフに設定できません。

撮影する



カメラまかせで撮影する（オートモード）

モードダイヤルを  に合わせると、ほとんどの設定をカメラにまかせて撮影できます。

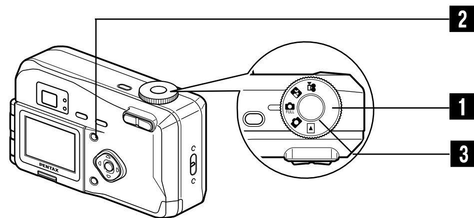
1 モードダイヤルを に合わせる

2 シャッターボタンを押す

撮影されます。

メモ
・オートモードでは、一部の機能を除いて、メニューは初期値に固定されます。変更できるメニューについては「メニュー一覧」（p.30）をご覧ください。

シャッターボタンの押しかた ☞ p.19



機能を設定して撮影する（フルモード）

モードダイヤルを FULL に合わせると、すべての機能を設定して撮影できます。

1 モードダイヤルを FULL に合わせる

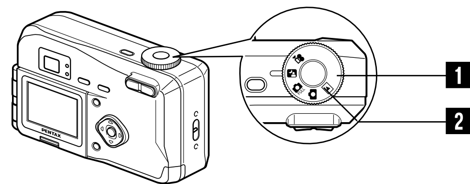
2 MENUボタンを押す

メニュー画面が表示されます。メニューの設定のしかたは「メニューの操作方法」（p.28）をご覧ください

3 シャッターボタンを押す

撮影されます。

シャッターボタンの押しかた ☞ p.19
静止画を再生する ☞ p.20



暗いシーンを撮影する（夜景モード）

夜景など暗いシーンを撮影するのに適切な設定にセットされます。

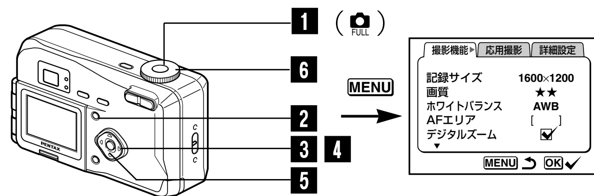
1 モードダイヤルを 夜景 に合わせる

2 シャッターボタンを押す

撮影されます。

シャッターボタンの押しかた ☞ p.19
静止画を再生する ☞ p.20

注意 夜景モードではシャッター速度が遅くなりますので、手ぶれにご注意ください。



連続して撮影する（連続撮影）

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

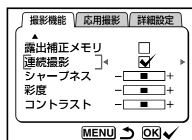
1 モードダイヤルを FULL に合わせる

2 MENUボタンを押す

「撮影機能」メニューが表示されます。

3 十字キー（▼）を押して「連続撮影」を選ぶ

4 十字キー（▶）を押して ☑（ON）を選ぶ



5 OKボタンを押す

液晶モニタに ❏（連続撮影）が表示され、撮影できる状態になります。

6 シャッターボタンを押す

シャッターボタンを押している間、連続して撮影されます。

シャッターボタンを離すと、撮影が終了します。

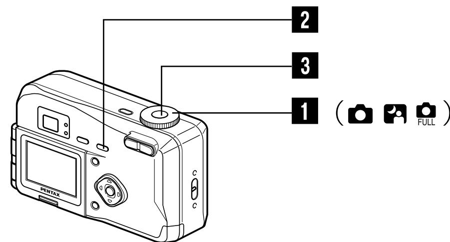
静止画を再生する ☞ p.20



- CFカードの容量がいっぱいになるまで、連続撮影できます。
- 連続撮影の間隔は、記録サイズや画質の設定によって異なります。



- 連続撮影では、ストロボは発光しません。
- オートモード、動画モードでは、連続撮影はできません。



セルフタイマーを使って撮影する

シャッターボタンを押してから、10秒後に撮影します。

1 モードダイヤルを FULL に合わせる

2 ⏲ 🌷 ▲ MF ボタンを押して、液晶モニタに ⏲ を表示させる

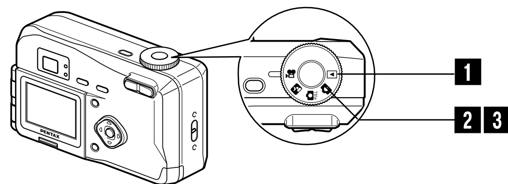
3 シャッターボタンを押す

セルフタイマーが起動し、セルフタイマーランプが点灯します。セルフタイマーランプが点滅をはじめてから約3秒後に撮影されます。



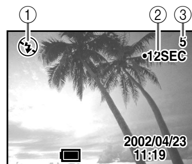
液晶モニタをオンにすると、カウントダウン表示されます。

静止画を再生する ☞ p.20
セルフポートレートを撮影する ☞ p.42



動画を撮影する（動画モード）

動画を撮影します。一度に撮影できる時間（1セット）は、最長30秒間です。



1 モードダイヤルを🎥に合わせる

液晶モニタに次の情報が表示されます。

①発光禁止マーク　②残り撮影可能時間
③残りセット数

2 シャッターボタンを押す

撮影が開始されます。ズームボタンで画像の大きさを切り替えることができます。

- 被写体が大きく写ります。
- 被写体が小さく写ります。

3 シャッターボタンを押す

撮影が終了します。残り撮影可能時間が表示されます。

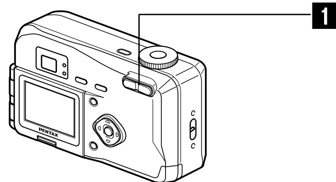
シャッターボタンを押し続けて撮影する

シャッターボタンを1秒以上押し続けると、シャッターボタンを押し続けている時間だけ撮影されます。シャッターボタンから指を離すと撮影が終了します。

動画を再生する ☞ p.69

注意
- 動画モードでは、ストロボは発光しません。
- 動画モードでは、連続撮影はできません。
- 動画モードでは、液晶モニタをオフにできません。
- 動画モードでは、音声の記録はできません。

撮影



ズームを使って撮影する

ズームを使って撮影する範囲の望遠/広角撮影ができます。

1 撮影モードでズームボタンを押す

望遠：被写体が大きく写ります。

広角：被写体が小さく写ります。

デジタルズーム機能がオフのときは、3倍までの光学ズーム撮影となります。デジタルズーム機能がオンのときは、被写体をさらに最大7.5倍相当まで拡大して撮影できます。



ズームバー　デジタルズーム領域





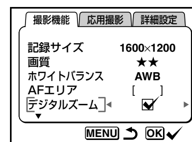
デジタルズーム機能をオンにする

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影機能」メニューが表示されます。

2 十字キー（▼）を押して「デジタルズーム」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押して ☑（オン）を選ぶ



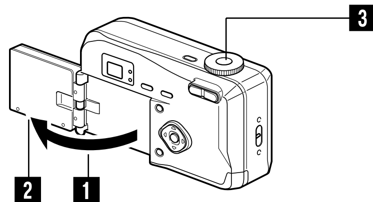
4 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

注意
- 液晶モニタをオフにすると、デジタルズーム機能がオンの状態でも、デジタルズームはオフになります。
- 画質が「TIFF」に設定されていると、デジタルズームの機能は働きません。

デジタルズーム機能のオン/オフを保存する ☞ p.66

撮影



セルフポートレートを撮影する

液晶モニタを反転させることができます。セルフポートレートやツーショットでの撮影をするときに、液晶モニタに写る自分自身を確認しながら撮影できます。

1 液晶モニタを反転させる

2 液晶モニタの画像を反転させる

画像反転ボタンを押すと、液晶モニタに が表示され、画像が左右反転して表示されます。

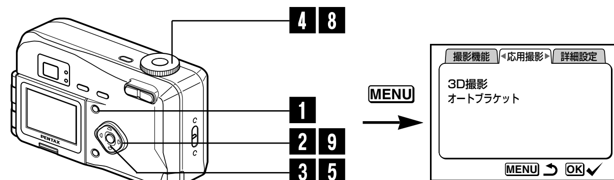
3 シャッターボタンを押す

撮影されます。



- 記録される画像は反転されません。
- メニュー画面は反転されません。
- 液晶モニタを反転させない状態でも、画像反転ボタンを押すと液晶モニタの画像は反転します。
- 暗い所での撮影などシャッターボタンを押したときに手ぶれが起きる場合は、セルフタイマーをご利用ください。

セルフタイマーを使って撮影する ☞ p.37

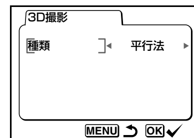


3D写真を撮る（3D撮影）

平行法/交差法で観察する3D写真を液晶モニタを使って撮します。プリントした3D写真を、付属の3Dイメージビュワーで見ると立体的に見えます。

1 「応用撮影」メニューの「3D撮影」を選び、十字キー（▶）を押す

2 十字キー（◀ ▶）で平行法または交差法を選ぶ



3Dイメージビュワーで見るときは、平行法を選択してください。

裸眼で楽しむこともできます。

3 OKボタンを押す

4 撮影範囲ガイドを見ながら、シャッターボタンを押す



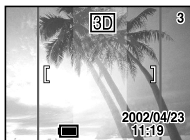
被写体を中央の撮影範囲に入るように撮影します。1枚目の画像が撮影され、液晶モニタに「右に移動してください」と表示が出ます。

5 OKボタンを押す

シャッターボタンを半押ししても2枚目の画像の撮影状態に移れます。

6 撮影姿勢を変えずに右に移動する

7 画像を重ねる



1枚目の画像が半透明の状態で重なって表示されます。半透明の画像を実画像に重ね合わせるようにして、構図を合わせます。

重なっている画像が見にくいときは、十字キーで半透明の帯を見やすい位置に移動させて、1枚目の画像と重ね合わせてください。

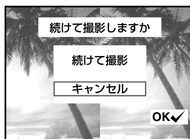
 半透明部分が横長に切り替わり、十字キーで上下に移動します。

 半透明部分が縦長に切り替わり、十字キーで左右に移動します。

8 シャッターボタンを押す

2枚目の画像が撮影されます。

9 十字キー（▲▼）で撮影を続けるかどうかを選ぶ



3D撮影を続行するか、終了するかを選択して、OKボタンを押します。



- 画質が「TIFF」に設定されていると、3D撮影はできません。
- 3D撮影を中止する場合は、MENUボタンを押してください。
- 1つの被写体を2回撮影するので、動くものを撮影しても立体画像は撮影できません。人物を撮影するときは、動かないように声をかけ、すばやく2枚目の撮影を行いましょう。三脚や適当な台を利用すれば、容易に右に水平移動できます。
- カメラの移動量は被写体までの距離の1/40程度が目安です。たとえば、被写体までの距離が3mあれば、移動量は3m÷40＝7.5cmとなります。立体感の見え方には個人差がありますので、あまり難しく考えず、下記の表を参考にしていろいろ移動距離を変えて撮影してみましょう。

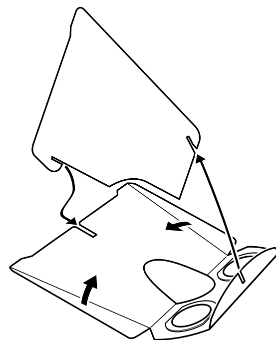
被写体までの距離	0.1m	0.3m	0.5m	1m	3m	5m
カメラの移動距離	0.5cm	1cm	1.5cm	2.5cm	7.5cm	13cm

● 平行法と交差法による3D写真

人間の目は左右に約6～7cm離れているため、左右それぞれの目には微妙に角度のズレた景色が写っています。この左右の見え方を脳が処理することにより、立体的に見え、この原理を応用した撮影方法および写真の観察方法が3D写真です。
3D写真を観察する方法としては、左右の視線をほぼ平行にして（遠くを見るように）見る「平行法」と、左右の視線を交差させて見る「交差法」があります。なお、ビュワーを使わずに3D写真を観察するためには多少の練習が必要になる場合があります。

● 3Dイメージビュワーの組み立て方

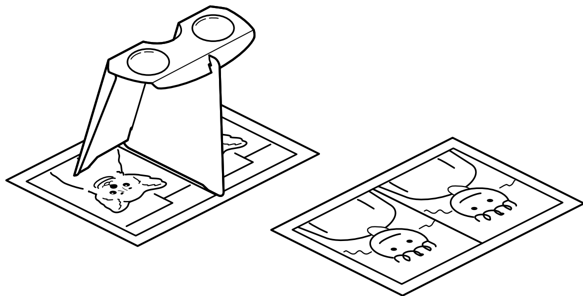
付属の3Dイメージビュワーは、次のように組み立ててお使いください。



撮影

● 3Dイメージビュワーを使った3D写真の観察方法

横幅が11cmから12cm程度になるようにプリントし、2枚の画像の中心に3Dイメージビュワーの仕切りを合わせて3D写真を観察します。



パソコンに転送する ☞ p.80またはp.95



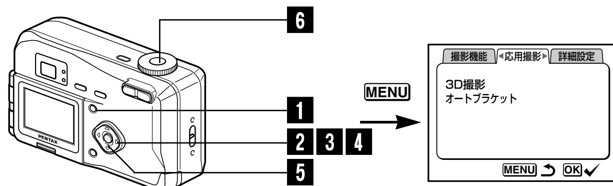
人間の左右の目の間隔には個人差があるため、同じ大きさのプリントを見ても立体視が困難な場合があります。特にプリントサイズが大きすぎたり、小さすぎたりすると立体視は非常に困難になります。何度かプリントを試してみて、立体視しやすい大きさを見つけてください。



- 3Dイメージビュワーで絶対に太陽はのぞかないでください。
- 3Dイメージビュワーを直接日光のあたる場所に放置しないでください。火災の原因となる恐れがあります。

● 3D写真の参考例





撮影条件を自動で変えて撮影する（オートブラケット）

露出、ホワイトバランス、彩度、シャープネス、コントラストの設定条件を変えた写真を自動的に連続撮影します。露出は、設定値を変えた 3 枚の画像を連続で撮影します。その他については、撮影した 1 枚の画像を自動処理します。

1 「応用撮影」メニューの「オートブラケット」を選ぶ

2 十字キー（◀ ▶）でブラケット撮影を行う条件を選ぶ

オートブラケット	
種類	露出
ステップ	±0.3EV

3 露出またはホワイトバランスの場合は十字キー（▼）を押す

「ステップ」の設定に移ります。

オートブラケット	
種類	露出
ステップ	±0.3EV

4 十字キー（◀ ▶）でステップを設定する

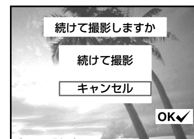
標準の他、ステップ分プラス側およびマイナス側の3枚の画像が撮影されます。

5 OKボタンを押す

ブラケット撮影モードになります。

6 シャッターボタンを押す

7 十字キー（▲ ▼）でブラケット撮影を続行するかどうかを選ぶ



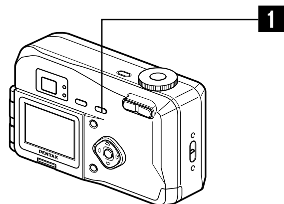
同じ条件でブラケット撮影を続行するか、終了するかを選択して、OKボタンを押します。



・撮影した画像は再生モードで確認してください。
・連続撮影設定時に、オートブラケットを設定すると、連続撮影は解除されます。

静止画を再生する ☞ p.20

撮影のための機能を設定する



フォーカスの設定を変える

●フォーカスモード

なし	オート	シャッターボタンを半押ししたときに、AFエリアにあるものにピントを合わせます。
🌷	マクロモード	被写体までの距離が約10cm～50cmのときに使用します。シャッターボタンを半押ししたときに、AFエリアにあるものにピントを合わせます。
▲	遠景モード	遠くにあるものを撮影するときに使用します。
MF	マニュアルフォーカスモード	手動でピントを合わせます。

1 撮影モードで 🌷 ボタンを押す

押すたびにフォーカスモードが切り替わり、設定値が液晶モニタに表示されます。

設定したフォーカスモードで撮影できます。



・電源をオフにするとフォーカスモードは「オート」に戻ります。
・フォーカスモードの初期値は「オート」です。オートのマーク表示はありません。

注意

フォーカスモードを「マクロモード」に設定しているときは、ファインダーを見ながら撮影すると、撮影範囲がずれることがあります。

マニュアルでフォーカスを設定する

MF に設定したときは、中央の拡大表示を見ながら、手動でピントを合わせます。

 フォーカス位置が遠くなります。

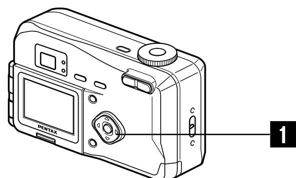
 フォーカス位置が近くなります。



・撮影が終了すると、マニュアルフォーカスは解除されます。
・暗い場所で撮影する場合、オートフォーカスでのピント合わせがされにくくなります。暗い場所では、シャッターボタンを半押しすると、補助光が発光され、オートフォーカスを合わせやすくなります。

撮影

撮影



露出を補正する

意図的に露出をオーバー（明るく）やアンダー（暗く）にして撮影するときに露出補正をします。

1　撮影モードで十字キー（◀ ▶）を押す

▶　露出をプラス方向に設定します。

◀　露出をマイナス方向に設定します



露出補正値

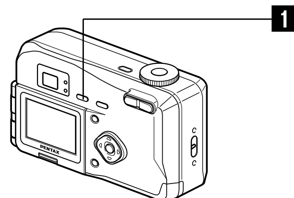
設定した値が液晶モニタに表示されます。



・「オートモード」では、露出の補正はできません。
・一度だけ十字キー（◀ ▶）を押した場合や±0に設定した場合は、3秒で表示が消えます。
・電源をオフにすると、補正値は±0に戻ります。
・設定した露出補正値は、「露出補正メモリ」で電源をオンにしている間、メモリ（保持）することができます。

露出補正値を保存する ☞ p.67

撮影



ストロボの発光方法を選択する

なし	オート	明るさに応じて自動的にストロボを発光します。
	発光禁止	ストロボを発光しません。
	強制発光	明るさにかかわらず常にストロボを発光します。
	オート＋赤目軽減	ストロボの光が目に反射して、赤く写るのを軽減します。 自動的にストロボを発光します。
	強制発光＋赤目軽減	ストロボの光が目に反射して、赤く写るのを軽減します。 常にストロボを発光します。



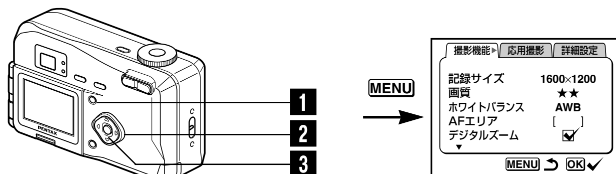
・撮影モードが にセットされているか、連続撮影、または遠景モードに設定されているときは、常に発光禁止になります。
・ストロボ撮影時には、測光のための補助光として撮影前に必ず、ストロボを1度発光させます。
・「オート＋赤目軽減」または「強制発光＋赤目軽減」では、撮影前に、瞳を小さくさせるためにストロボを1度発光させ、少し間をおいてからストロボ撮影を行ないます。

1　撮影モードで ボタンを押します。

押すたびに発光方法が切り替わり、設定値が液晶モニタに表示されます。充電中はストロボランプが赤色に点滅します。充電が完了してから、シャッターボタンを半押ししたときにストロボランプが赤色に点灯すると、設定したストロボ発光方法で撮影ができる状態になります。

ストロボ発光方法を保存する ☞ p.66

撮影



記録サイズを選択する

画像の解像度を「1600×1200」「1024×768」「640×480」から選べます。

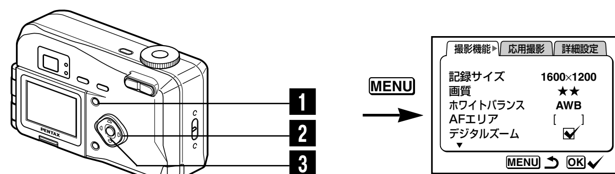
1 「撮影機能」メニューの「記録サイズ」を選ぶ

2 十字キー（◀ ▶）で記録サイズを切り替える



3 OKボタンを押す

撮影ができる状態になります。



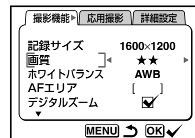
画質を選択する

画像の圧縮率が選べます。

TIFF	ティフ	最もきれいな画質になります。 画像の容量も最も大きくなります。
★★★	S.ファイン	画質はきれいになります。画像の容量は大きくなります。
★★	ファイン	標準画質
★	エコノミー	画質は粗くなります。画像の容量は小さくなります。

1 「撮影機能」メニューの「画質」を選ぶ

2 十字キー（◀ ▶）で画質を切り替える

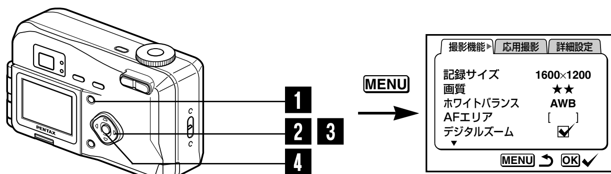


3 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。



・「TIFF」を選んだ場合は、記録サイズは「1600×1210」に固定されます。
・「TIFF」を選んだ場合は、デジタルズームは働きません。
・「TIFF」を選んだ場合は、3D撮影はできません。



ホワイトバランスを調整する

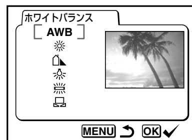
撮影時に光の状態に応じて設定すると、被写体を見たままの色で撮影できます。

AWB	オート	調整をカメラにまかせます。
	太陽光	太陽の下で撮影するときに設定します。
	日陰	日陰で撮影するときに設定します。
	白熱灯	電球など白熱灯で照明されたものを撮影するときに設定します。
	蛍光灯	蛍光灯で照明されたものを撮影するときに設定します。
	マニュアル	手動で調整して撮影するときに設定します。

1 「撮影機能」メニューの「ホワイトバランス」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

ホワイトバランス選択画面が表示されます。



3 十字キー（▲▼）で設定を切り替える

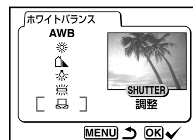
4 OKボタンを2回押す

撮影できる状態になります。

ホワイトバランスを保存する ☞ p.66

マニュアルで設定する

1 ホワイトバランス選択画面で （マニュアル）を選ぶ



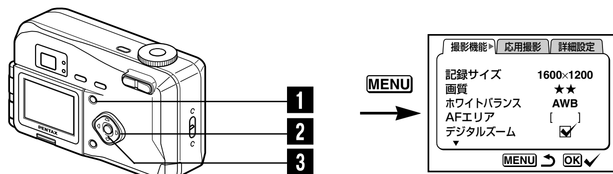
2 白い紙等を画面いっぱいに入れる

3 シャッターボタンを押す

ホワイトバランスが自動調整されると、液晶モニタに「完了」と表示され、メニュー画面に戻ります。

4 OKボタンを押す

撮影できる状態に戻ります。





オートフォーカス範囲を設定する

オートフォーカスの対象となる範囲（AFエリア）を変更できます。

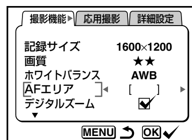
[　　]	通常範囲（ワイド）
[ ]	フォーカスが合う範囲を狭くします（スポット）

1 「撮影機能」メニューの「AFエリア」を選ぶ

2 十字キー（◀ ▶）でAFエリアを切り替える

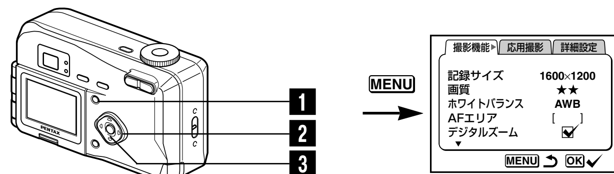
3 OKボタンを押す

撮影できる状態に戻ります。



メモ　AFエリアは、ファインダー内には表示されません。ピントを合わせる範囲は、必ず液晶モニタで確認してください。

AFエリアの設定を保存する ☞ p.66





測光範囲を設定する

画面のどの部分で明るさを測り、露出を決定するのかを設定します。

	分割	画面全体をきめ細かく測光して露出を決定します。
	中央部重点	画面中央を重点的に測光して露出を決定します。
	スポット	画面の中央のみを測光して露出を決定します。

1 「撮影機能」メニューの「測光方式」を選ぶ

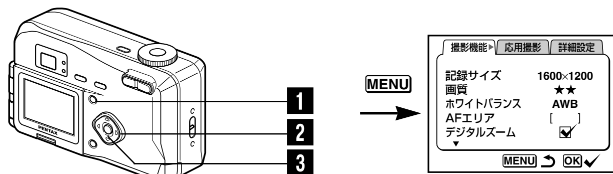


2 十字キー（◀ ▶）で測光方式を切り替える

3 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

測光方式を保存する ☞ p.66





ISO感度を設定する

撮影する場所の明るさに応じて、感度を設定することができます。

●ISO感度

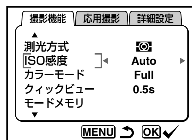
Auto	設定をカメラにまかせます（オート）
100	ノイズの少ないシャープな画像が得られます。 暗い場所ではシャッター速度が遅くなります
200	暗い場所でもシャッター速度を速くできます。 画像にはノイズが増えます。

1 「撮影機能」メニューの「ISO感度」を選ぶ

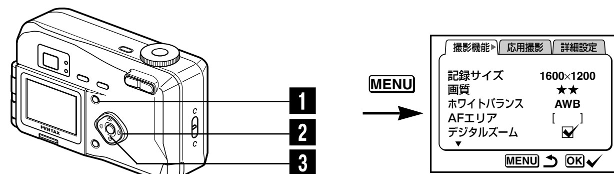
2 十字キー（◀ ▶）でISO感度値を切り替える

3 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。



ISO感度を保存する ☞ p.66





カラーモードを設定する

画像の色を白黒やセピアに変えて、レトロな雰囲気の画像を撮ることができます。

●カラーモード

Full（カラー）	カラーで撮影します。
B&W（白黒）	白黒で撮影します。
Sepia（セピア）	セピアで撮影します。

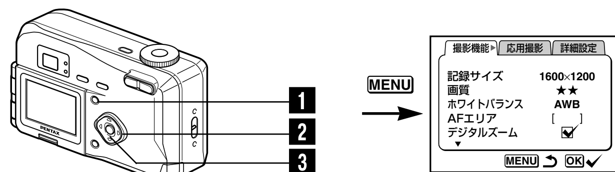
1 「撮影機能」メニューの「カラーモード」を選ぶ

2 十字キー（◀ ▶）でカラーモードを切り替える

3 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。





クイックビューの時間を設定する

クイックビューの表示時間を0.5秒、1秒、2秒、3秒、5秒、オフ（表示しない）から選べます。

1 「撮影機能」メニューの「クイックビュー」を選ぶ

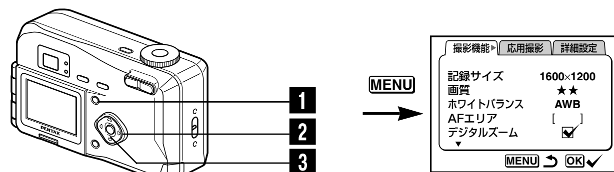
2 十字キー（◀▶）で表示時間を切り替える



3 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

メモ　クイックビューの設定は、電源をオフにしても保持されます。

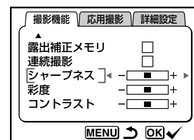


シャープネスを設定する

画像の輪郭をシャープまたはソフトにします。

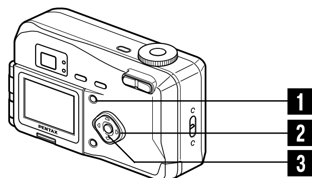
1 「撮影機能」メニューの「シャープネス」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で「強（＋）」「標準」「弱（－）」を切り替える



3 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。





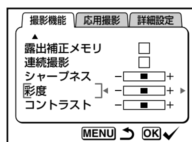


彩度を設定する

色の鮮やかさを設定します。

1 「撮影機能」メニューの「彩度」を選ぶ

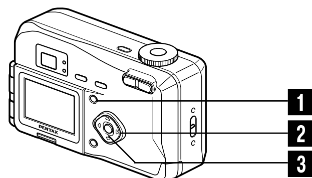
2 十字キー（◀ ▶）で「強（+）」「標準」「弱（−）」を切り替える



3 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

撮影





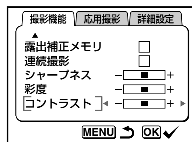


コントラストを設定する

画像の明暗差を設定します。

1 「撮影機能」メニューの「コントラスト」を選ぶ

2 十字キー（◀ ▶）で「強（+）」「標準」「弱（−）」を切り替える



3 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

撮影

設定を保存する

メニュー項目を保存する（モードメモリ）

電源をオフにしたときに、撮影のために設定した値をメモリ（保存）するかどうかを選びます。☑（オン）を選ぶと、電源オフ直前の設定状態をメモリします。□（オフ）を選ぶと、電源をオフにしたときに初期値に戻ります。

項目	内容	初期値
ストロボ	ボタンで設定した値を保存します。	☑
ホワイトバランス	撮影機能」メニューの「ホワイトバランス」で設定した値を保存します。	□
AFエリア	撮影機能」メニューの「AFエリア」で設定した値を保存します。	□
デジタルズーム	「撮影機能」メニューの「デジタルズーム」で設定した値を保存します。	☑
測光方式	「撮影機能」メニューの「測光方式」で設定した値を保存します。	□
ISO感度	「撮影機能」メニューの「ISO感度」で設定した値を保存します。	□
DISPLAY	液晶モニタの表示モードを保存します。	□
ファイルNo.	ファイル番号を保存します。CFカードを入れ替えた場合でも連番でファイル名を作成します。	☑

メモ　「モードメモリ」に含まれないメニュー項目は、電源をオフにした後も、各機能のメニュー画面で設定された値が保持されます。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

2 十字キー（▼）で「モードメモリ」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

「モードメモリ」メニューが表示されます。

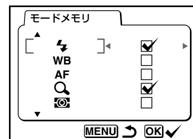


4 十字キー（▲ ▼）で項目を選ぶ

5 十字キー（◀ ▶）で☑（オン）と□（オフ）を切り替える

6 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。



露出補正値を保持する

電源オン時の間、設定した露出補正値を保持するかどうかを選びます。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

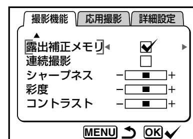
2 十字キー（▼）を「露出補正メモリ」を選ぶ

「露出補正メモリ」メニューが表示されます。

3 十字キー（◀ ▶）で☑（オン）と□（オフ）を切り替える

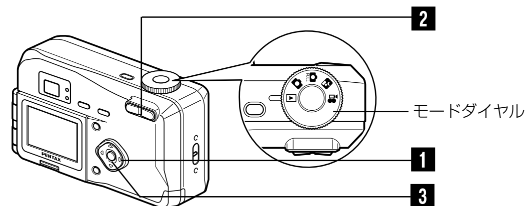
4 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。



メモ　電源をオフにすると、露出補正値は±0に戻ります。

カメラで再生する



静止画を再生する

操作方法は「撮った画像を一枚ずつ再生する」（p.21）をご覧ください。

拡大して再生する

再生する画像を4倍まで拡大表示できます。拡大中は液晶モニタにガイドが表示されます。

1 モードダイヤルを ▶ に合わせ、十字キー（◀ ▶）で拡大表示したい画像を選ぶ

2 ズームボタンの 🔍 を押す

画像が大きく（1倍〜4倍）表示されます。



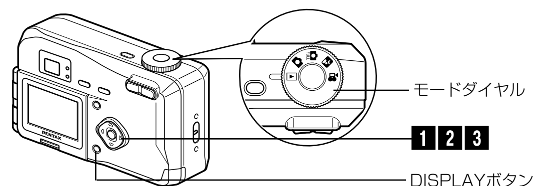
●拡大表示中にできる操作

十字キー（▲ ▼ ◀ ▶）	拡大位置を移動する
ズームボタン（ 🔍 ）	画像を大きくする
ズームボタン（ 🔍🔍🔍 ）	画像を小さくする
DISPLAYボタン	ガイドをオン/オフする

3 OKボタンを押す

拡大表示が終了します。

注意　動画は拡大表示できません。



動画を再生する

動画を再生します。再生中は液晶モニタに操作ガイドが表示されます。

1 モードダイヤルを ▶ に合わせ、十字キー（◀ ▶）で再生したい動画を選ぶ



2 十字キー（▲）を押す

再生が開始します。

● 再生中にできる操作

十字キー（◀）	逆方向に再生する
十字キー（▶）	順方向に再生する
十字キー（▲）	一時停止する
DISPLAYボタン	DISPLAYモードを切り替える

● 一時停止中にできる操作

十字キー（◀）	コマ戻しする
十字キー（▶）	コマ送りする
十字キー（▲）	一時停止を解除する（再生する）
DISPLAYボタン	DISPLAYモードを切り替える

3 十字キー（▼）を押す

再生が停止します。

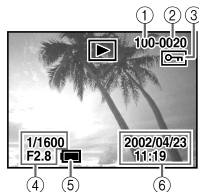
撮影時の情報を表示する（DISPLAYモード）

撮影時の情報を液晶モニタにオーバーレイ表示できます。DISPLAYボタンで表示される情報を切り替えます。

DISPLAYオン

撮影時の情報を表示します。

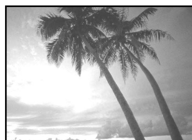
① フォルダNo.　② ファイルNo.
③ プロテクトマーク
④ シャッター速度/絞り値
⑤ 電池残量　⑥ 日時





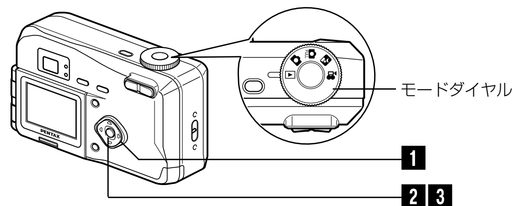
DISPLAYオフ

撮影時の情報を表示しません。





DISPLAYオン



9画像ずつ表示する

画面に9画像ずつ再生します。

1 モードダイヤルを▶に合わせ、十字キー（◀ ▶）で画像を選ぶ

2 OKボタンを押す



選択中の画面を中央にして、9画像が表示されます。

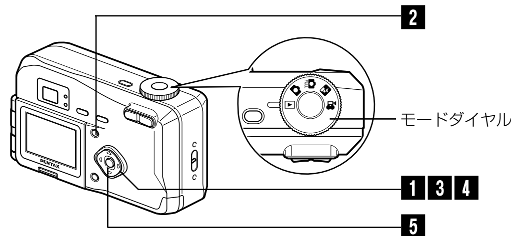
十字キー（▲▼◀▶）で画像が選べます。左列の画像を選択しているときに十字キー（◀）を押すと、前の9画像が表示されます。右列の画像を選択しているときに十字キー（▶）を押すと、次の9画像が表示されます。

3 OKボタンを押す

選択した画像が1枚表示されます。



動画は、1コマ目の画像が表示されます。



スライドショウで連続再生する

CFカードに保存された全画像を連続して再生します。

1 モードダイヤルを ▶ に合わせ、十字キー（◀ ▶）でスライドショウを開始する画像を選ぶ

2 MENUボタンを押す

「再生機能」メニューが表示されます。

再生機能 | 詳細設定
スライドショウ ◀ 3s ▶
DPOF
MENU OK

3 十字キー（▼）で「スライドショウ」を選ぶ

4 十字キー（◀ ▶）で再生時間を切り替える

3s（3秒）、5s（5秒）、10s（10秒）、20s（20秒）、30s（30秒）から選択できます。

5 OKボタンを押す

設定した時間で再生が開始します。

6 任意のボタン（シャッターボタンを除く）を押す

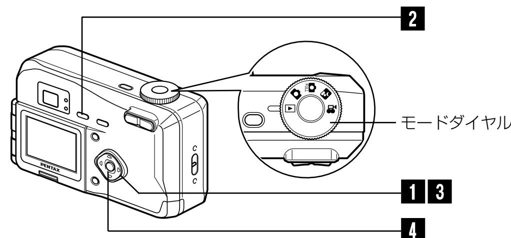
スライドショウが停止します。



・スライドショウは、ボタンを押して停止させるまで繰り返します。
・動画は、設定した再生間隔にかかわらずすべて再生されてから、次の再生に移ります。

再生・消去

画像を消去する



1画像ずつ消去する

1 モードダイヤルを ▶ に合わせ、十字キー（◀ ▶）で消去したい画像を選ぶ

2 🗑 ボタンを押す

「消去」メニューが表示されます。



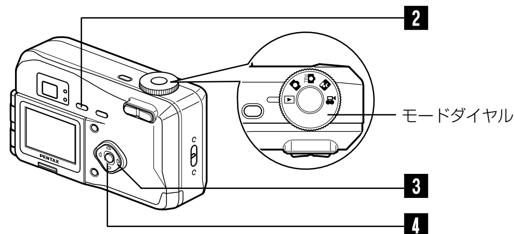
3 十字キー（▲）で「消去」を選ぶ

4 OKボタンを押す



・画像の消去は、クイックビュー（p.19）、ワンタッチビュー（p.20）で画像表示中に行なうことができます。
・プロテクト（ O━ ）されている画像は、消去できません。

再生・消去



まとめて消去する

CFカードに保存されている全画像を消去します。

注意
- 消去した画像は復元ができません。
- プロテクトされている画像は消去できません。

1 モードダイヤルを▶に合わせる

2 🗑 ボタンを2回押す

「全画像消去」メニューが表示されます。



3 十字キー（▲）で「全画像消去」を選ぶ

4 OKボタンを押す

2
モードダイヤル
1 3
4

消去できないようにする（プロテクト）

画像を誤って消去しないようにプロテクト（保護）することができます。

1 モードダイヤルを▶に合わせ、十字キー（◀ ▶）でプロテクトする画像を選ぶ

2 O┳ ボタンを押す

「プロテクト」メニューが表示されます。



3 十字キー（▲）で「プロテクト」を選ぶ

4 OKボタンを押す



- プロテクトを解除するには、3 で「解除」を選びます。
- プロテクトされた画像には、再生時に O┳ が表示されます。

全画像をプロテクトするには

全画像をプロテクトすることができます。

1 モードダイヤルを▶に合わせる

2 O┳ ボタンを2回押す

「全画像プロテクト」メニューが表示されます。

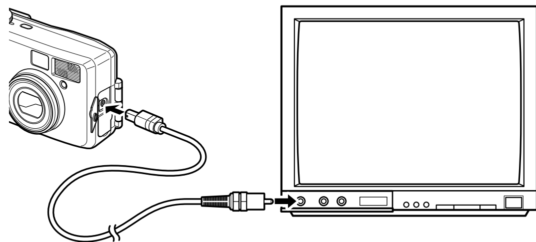
3 十字キー（▲）で「プロテクト」を選ぶ

4 OKボタンを押す

注意
プロテクトされた画像もCFカードをフォーマットすると消去されます。

再生・消去

テレビで画像を見る



ビデオケーブルを使用すると、テレビなど、ビデオ入力端子を備えた機器をモニタにして撮影や再生ができます。ケーブルを接続するときは、テレビとカメラの電源を必ずオフにしてください。

1 端子カバーを開き、ビデオケーブルを接続する

2 ビデオケーブルのもう一方の端子を、テレビの映像入力端子に接続する

3 テレビとカメラの電源を入れる

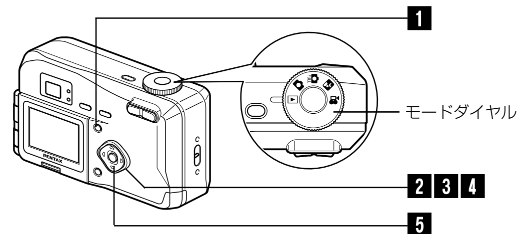
ビデオの出力方式を切り替える ☞p.103



テレビに接続しているときは、液晶モニタは常にオフになります。長時間使用するときは、ACアダプタ（別売）のご使用をおすすめします。テレビ等接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

プリントサービスの設定をする（DPOF）

CFカードに保存した画像は、DPOF（Digital Print Order Format）対応プリンタやラボプリントサービスでプリントできます。



1画像ずつ設定する

各画像ごとに、次の項目の設定をします。

●枚数
プリントする枚数を設定します。99枚までの設定ができます。

●日付
プリントする画像に日付を入れるか入れないかを設定します。

1 「再生機能」メニューの「DPOF」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）でプリント指定する画像を選び、十字キー（▼）を押す

選択枠が「枚数」に移動します。



3 十字キー（◀ ▶）でプリント枚数を設定し、十字キー（▼）を押す

選択枠が「日付」に移動します。



4 十字キー（◀ ▶）で日付の「ON」「OFF」を設定する

ON　プリントに日付を入れます

OFF プリントに日付を入れません

5 OKボタンを押す

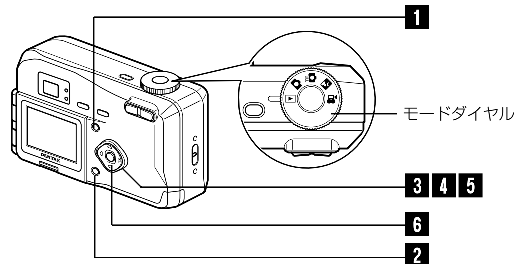
設定した値でプリントできます。



すでにDPOFが設定されている画像は、設定された枚数と日付のオン/オフが表示されます。



- 動画には、DPOFを設定することはできません。
- プリンタやラボのプリント機器によっては、DPOFの設定がされていても、プリントに日付が写し込まれない場合があります。



全画像を設定する

1 「再生機能」メニューの「DPOF」を選ぶ

2 DISPLAYボタンを押す

3 十字キー（◀ ▶）でプリント枚数を設定する

99枚まで設定ができます。



4 十字キー（▼）を押す

選択枠が「日付」に移動します。

5 十字キー（◀ ▶）で日付の「ON」「OFF」を設定する

ON　プリントに日付を入れます

OFF プリントに日付を入れません

6 OKボタンを押す

設定した値でプリントできます。



- 全画像設定を行なうと、1画像ずつの設定は解除されます。
- 全画像設定でプリント枚数の指定をすると、すべてのコマに指定した枚数が設定されます。プリントをする前に必ず、枚数の設定が正しいか確認してください。
- 動画は、プリントサービス設定できません。

Windowsパソコンで画像を見る

付属のUSBケーブル（I-USB2）やカードリーダーなどで画像をパソコンに転送し、画像閲覧用ソフトウェアを用いることで、カメラで撮影した画像をパソコンで編集・プリントできます。ここでは、付属のソフトウェア（S-SW5）を使用して画像を見る方法を説明します。

添付ソフトウェアのご紹介

付属のCD-ROM（S-SW5）には、次のソフトウェアが含まれます。

・USBドライバ
・画像閲覧用ソフト（ACDSee™）

システム環境

・OS	Windows 98/2000/Me Windows XP Home Edition/Professional
・CPU	Pentium以降を推奨
・メモリ	64MB以上
・ハードディスクの空容量	15MB以上
・USBポートが標準で搭載されていること	

動画を再生するにはDirectX8.0とOS標準添付のMedia Player（Windows Me/XPではMedia Playerのみ）、またはQuick Time 3.0以上が必要です。

注意
・Windows95では、ご使用になれません。
・カメラをパソコンに接続するときは、ACアダプタ K-AC5J のご使用をお奨めします。画像の転送中に電池が消耗すると、画像データが壊れることがあります。

ソフトウェアをインストールする

必要なソフトウェアをインストールします。

注意
・Windowsの種類（98/Me/2000）によって、インストール手順が異なります。インストールを始める前に、お使いのWindowsの種類をご確認ください。Windows XPのインストール手順については、「USBドライバをインストールする（Windows XP）」」（p.88）をご覧ください。
・Windows 2000およびWindows XP（Professional）の場合は、administrator権限でログオンしてからインストールを始めてください。ログオンのしかたは、パソコン付属の使用説明書をご覧ください。

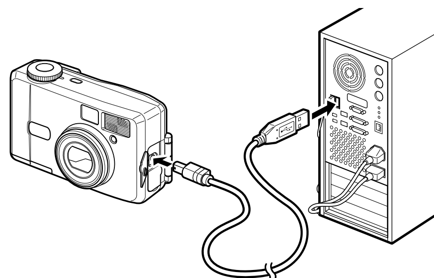
USBドライバをインストールする（Windows98/2000/Me）

1 パソコンの電源を入れる

2 付属のCD-ROM（S-SW5）を、パソコンのCD-ROMドライブにセットする

3 カメラの電源をオフにして、USBケーブルでパソコンとカメラを接続する

カメラにCFカードが入っていることを確認してください。



4 カメラの電源をオンにする

カメラの接続が認識され、新しいハードウェアの追加ウィザード画面が表示されます。

Windows98の場合は、引き続き以下の手順ににしたがって、インストール作業を行ってください。WindowsMeの場合はp.84に、Windows2000の場合はp.86にお進みください。

● Windows98の場合

5 「次へ」をクリックする



6 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択して、「次へ」をクリックする



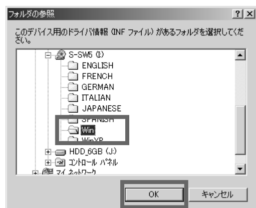
7 「検索場所の指定」だけをチェックして、「参照」をクリックする

他の項目のチェックされている場合は、その項目をクリックしてチェックマークを外してください。



8 CD-ROMドライブの「Win」フォルダをクリックして、「OK」をクリックする

「+」をクリックすると、フォルダが開いて、中のファイルが表示されます。



9 「Win」フォルダが選択されたことを確認して、「次へ」をクリックする



10 「penusbp.inf」が表示されたことを確認して、「次へ」をクリックする

ドライバのインストールが開始されます。



11 「完了」をクリックする

インストールが完了し、ウィザード画面が閉じます。



12 カメラの電源をオフにして、パソコンを再起動する

Windowsが起動したら、カメラの電源をオンにする。

カメラにCFカードが入っていることを確認してください。

---

13 デスクトップ画面から「マイコンピュータ」をダブルクリックする

カメラの電源がオンになると、リムーバブルディスク（カメラ）が追加されます。



● **WindowsMeの場合**

5 「ドライバの場所を指定する」を選択して、「次へ」をクリックする



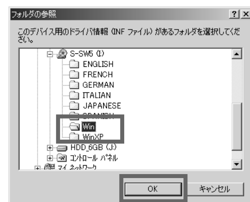
6 「検索場所の指定」だけをチェックして、「参照」をクリックする

「リムーバブルメディア」がチェックされている場合は、クリックして、チェックマークを外してください。



7 CD-ROMドライブの「Win」フォルダをクリックして、「OK」をクリックする

「＋」をクリックすると、フォルダが開いて、中のファイルが表示されます。



8 「Win」フォルダが選択されたことを確認して、「次へ」をクリックする



9 「penusbp.inf」が表示されたことを確認して、「次へ」をクリックする

ドライバのインストールが開始されます。



10 「完了」をクリックする

インストールが完了し、ウィザード画面が閉じます。

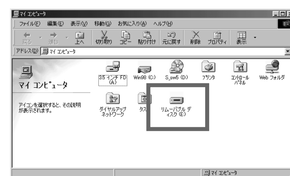


11 カメラの電源をオフにして、パソコンを再起動する

Windowsが起動したら、カメラの電源をオンにします。
カメラにCFカードが入っていることを確認してください。

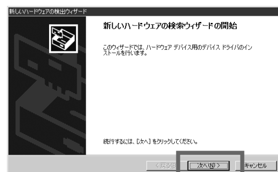
12 デスクトップ画面から「マイコンピュータ」をダブルクリックする

カメラの電源がオンになると、リムーバブルディスク（カメラ）が追加されます。

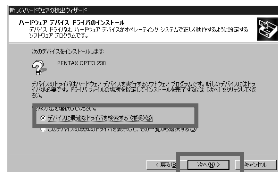


● Windows2000の場合

5 「次へ」をクリックする

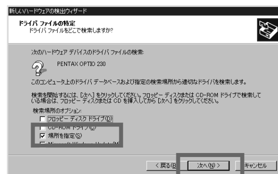


6 「デバイスに最適なドライバを検索する」を選択して、「次へ」をクリックする



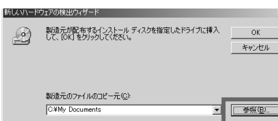
7 「場所を指定」だけをチェックして、「次へ」をクリックする

他の項目のチェックされている場合は、その項目をクリックしてチェックマークを外してください。

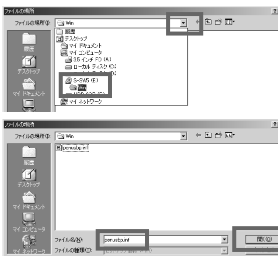


8 「参照」をクリックする

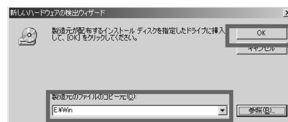
「ファイルの場所」画面が表示されます。



9 CD-ROMドライブの「Win」フォルダを選択し、「penusbp.inf」が表示されていることを確認して、「開く」をクリックする

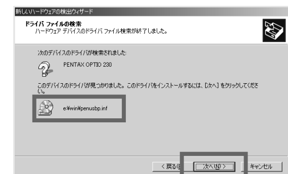


10 ファイルのコピー元に「Win」フォルダが選択されたことを確認して、「OK」をクリックする



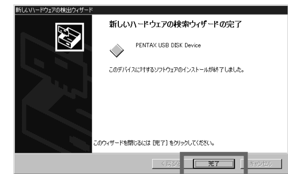
11 「penusbp.inf」が表示されたことを確認して、「次へ」をクリックする

ドライバのインストールが開始されます。



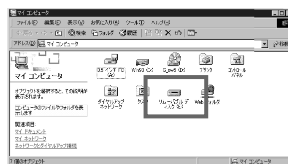
12 「完了」をクリックする

インストールが完了し、ウィザード画面が閉じます。



13 デスクトップ画面から「マイコンピュータ」をダブルクリックする

カメラの電源がオンになると、リムーバブルディスク(カメラ)が追加されます。



再生・消去

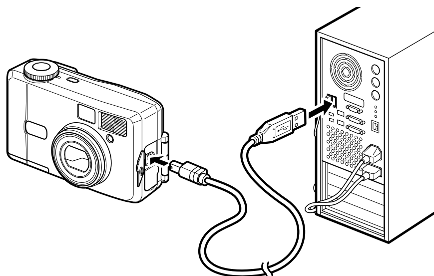
USBドライバをインストールする（WindowsXP）

1 パソコンの電源を入れる

2 付属のCD-ROM（S-SW5）を、パソコンのCD-ROMドライブにセットする

3 カメラの電源をオフにして、USBケーブルでパソコンとカメラを接続する

カメラにCFカードが入っていることを確認してください。

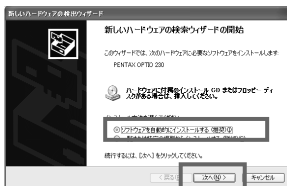


4 カメラの電源を入れる

タスクバーに「新しいハードウェアが見つかりました」と表示され、「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示されます。



5 「ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨)」を選択して、「次へ」をクリックする



6 インストール完了のメッセージが表示されたら、「完了」をクリックする

インストールが完了し、ウィザード画面が閉じます。

Windowsが自動的に実行する動作を選択する画面が表示されたら、「キャンセル」をクリックします。



7 「スタート」メニューから「マイコンピュータ」をクリックする

インストール終了後に、リムーバブルディスク（カメラ）がマイコンピュータに追加されたことを確認します。





WindowsXPの場合、CFカードにボリュームラベルがついていると、「リムーバブルディスク」と表示されずにボリュームラベル名に記載されている内容が表示されます。フォーマットされていない新しいCFカードは、メーカー名や型番が表示される場合があります。

ACDSee™をインストールする

ACDSee™をインストールすると、撮影した画像をパソコンで見ることができます。

1 パソコンの電源を入れる

2 付属のCD-ROM（S-SW5）をパソコンのCD-ROMドライブにセットする

3 「マイコンピュータ」をダブルクリックする

4 CD-ROMドライブをダブルクリックする

5 「Japanese」をダブルクリックする

6 「setup.exe」をダブルクリックする

セットアップ画面が表示されます。画面の指示に従い、登録情報を入力し、インストール作業を進めてください。

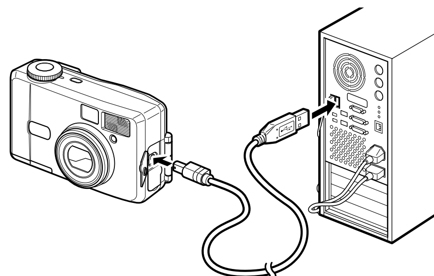
7 インストールが完了したら、Windowsを再起動してください。

カメラとパソコンを接続する

1 パソコンの電源を入れる

2 カメラの電源をオフにして、USBケーブルでパソコンとカメラを接続する

カメラにCFカードが入っていることを確認してください。



3 カメラの電源をオンにする

カメラは「マイコンピュータ」の「リムーバブルディスク」として認識されます。





- 上記の状態で画像を見たり印刷したりできますが、写真のデータはカメラ内のCFカード内にありますので、CFカード内の写真データを他のメディアに保存したい場合は、パソコンの使用説明書を参考にエクスプローラー等を利用してファイルをコピーあるいは移動させてください。編集する場合は、パソコン側へ画像をコピーしてから行ってください。
- WindowsXPの場合、CFカードにボリュームラベルがついていると、「リムーバブルディスク」と表示されずにボリュームラベル名に記載されている内容が表示されます。フォーマットされていない新しいCFカードは、メーカー名や型番が表示される場合があります。

パソコンで画像を見る

1 デスクトップ画面から「ACDSee™」アイコンをダブルクリックする

2 見たい画像を選ぶ

カメラの画像は「マイコンピュータ」→「リムーバブルディスク（CFカードにボリュームラベル名が記載されている場合はその名称）」→「DCIM」→「×××PENTX」（×××は、3桁の数字）フォルダーの中にあります。

メモ 上記の手順で動画も再生できます。

パソコンからカメラを取り外す

パソコンからカメラを取り外す（Windows2000）

1 デスクトップ右下のステータスバーの（ホットプラグアイコン）をダブルクリックする

「ハードウェアの取り外し」画面が表示されます。



2 「PENTAX USB Disk Device」が選択されていることを確認して「停止」をクリックする

「ハードウェアデバイスの停止」画面が表示されます。



3 「PENTAX USB Disk Device」が選択されていることを確認して「OK」をクリックする

メッセージが表示されます。



4 「OK」をクリックする

5 USBケーブルをパソコンとカメラから取り外す




Windows98/Meでは、ホットプラグアイコンはありません。カメラを外すときは、カメラの電源を切り、そのまま、USBケーブルを外してください。

パソコンからカメラを取り外す（WindowsXP）

1 タスクバーの「ハードウェアの取り外し」アイコンをダブルクリックする



2 「PENTAX USB DISK Deviceをクリックして「停止」をクリックする



3 「PENTAX USB DISK Device－ドライブ（X:）をクリックして「OK」をクリックする



4 取り外し許可のメッセージが表示されたら、カメラの電源をオフにして、カメラをパソコンから取り外す



Macintoshで画像を見る

付属のUSBケーブル（I-USB2）やカードリーダーなどで画像をパソコンに転送し、画像閲覧用ソフトウェアを用いることで、カメラで撮影した画像をパソコンで編集・プリントできます。ここでは、付属のソフトウェア（S-SW5）を使用して画像を見る方法を説明します。

添付ソフトウェアのご紹介

付属のCD-ROMには次のようなソフトウェアが含まれます。

・USBドライバ
・画像閲覧用ソフト（ACDSee™）

システム環境

・OS　Mac OS8.6以上（QuickTime4.0以降が必要）
・CPU　PowerPC 266MHz以上
・メモリ　8MB以上
・ハードディスクの空容量　6MB以上
・USBポートが標準で搭載されていること



動画を再生するには、MacOS標準添付のQuickTime4.0以上が必要です。



・カメラをパソコンに接続するときは、ACアダプタ K-AC5Jのご使用をお奨めします。画像の転送中に電池が消耗すると、画像データが壊れることがあります。

ソフトウェアをインストールする

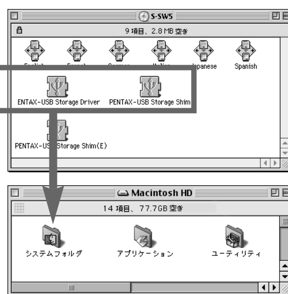
必要なソフトウェアをインストールします。

USBドライバをインストールする（Mac OS8.6のみ）

1 Macintoshの電源を入れる

2 CD-ROM（S-SW5）をMacintoshのCD-ROMドライブにセットする

3 CD-ROM（S-SW5）のアイコンをダブルクリックする

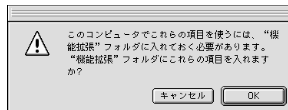


4 Macintoshのシステムフォルダーへ、CD-ROM（S-SW5）から次の２つのファイルをドラッグする

・PENTAX-USB Storage Driver
・PENTAX-USB Storage Shim

5 OKボタンをクリックする

6 Macintoshを再起動する。





Mac OS9.0以降では、付属のUSBドライバをインストールする必要はありません。

ACDSee™をインストールする

ACDSee™をインストールすると、撮影した画像をMacintoshで見ることができます。

1 Macintoshの電源を入れる

2 CD-ROM（S-SW5）をMacintoshのCD-ROMドライブにセットする

3 CD-ROM（S-SW5）上の「Japanese」をダブルクリックする

4 画面の指示に従い、登録情報を入力し、インストールを行なう

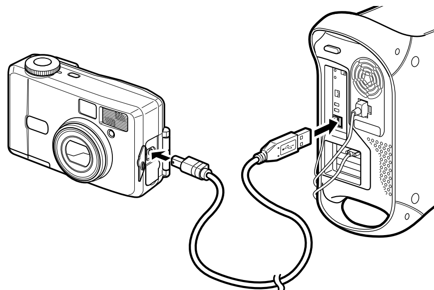
再生・消去

カメラとMacintoshを接続する

1 Macintoshの電源を入れます。

2 カメラの電源をオフにして、USBケーブルでMacintoshとカメラを接続する

カメラにCFカードが入っていることを確認してください。



3 カメラの電源をオンにする

カメラはデスクトップ上の「名称未設定」として認識されます。フォルダー名は変更できます。





- この状態で、画像を見たり、印刷したりできますが、写真のデータはカメラ内のCFカード内にありますので、CFカード内の写真データを他のメディアに保存したい場合は、Macintoshの使用説明書を参考にファイルをコピーあるいは移動させてください。編集する場合は、Macintoshへ画像をコピーしてから行ってください。
- CFカードにボリュームラベルがついていると、「名称未設定」と表示されずにボリュームラベル名に記載されている内容が表示されます。フォーマットされていない新しいCFカードは、メーカー名や型番が表示される場合があります。

Macintoshで画像を見る

1 ハードドライブ上の「ACDSee™」フォルダーをクリックする

2 「ACDSee™」のプログラムアイコンをダブルクリックする

3 見たい画像を選びます。

カメラの画像はデスクトップ上の「名称未定義（CFカードにボリュームラベル名が記載されている場合はその名称）」→「DCIM」→「×××PENTX」（×××は、3桁の数字）フォルダーの中にあります。



- 上記の手順で動画も再生できます。
- CFカードにボリュームラベルがついていると、「名称未設定」と表示されずにボリュームラベル名に記載されている内容が表示されます。フォーマットされていない新しいCFカードは、メーカー名や型番が表示される場合があります。

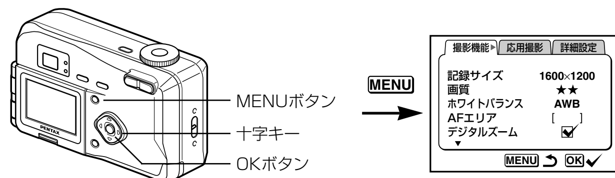
Macintoshからカメラを取り外す

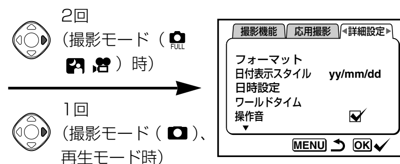
1 デスクトップ上の「名称未設定（CFカードにボリュームラベル名が記載されている場合はその名称）」をごみ箱にドラッグする

2 USBケーブルをMacintoshとカメラから取り外す

カメラの設定をする

「詳細設定」メニューの呼び出しかた





CFカードをフォーマットする

CFカードに保存されているすべてのデータを消去します。

注意

- CFカードのフォーマット中は、CFカードカバーを開けないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- フォーマットを行なうと、プロテクトされた画像も消去されます。ご注意ください。

1 「詳細設定」メニューの「フォーマット」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

フォーマット画面が表示されます。

3 十字キー（▲）で「フォーマット」を選ぶ

4 OKボタンを押す

メモ　フォーマットが開始されます。フォーマットが終わると撮影または再生できる状態になります。

日付の表示スタイルを変更する

カメラに表示する日付の表示形式を設定します。
「yy/mm/dd（年月日）」「mm/dd/yy（月日年）」「dd/mm/yy（日月年）」から選べます。

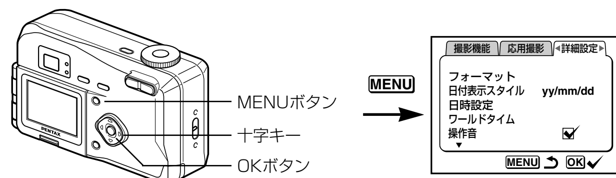
1 「詳細設定」メニューの「日付表示スタイル」を選ぶ

2 十字キー（◀ ▶）で日付スタイルを切り替える

3 OKボタンを押す

設定した日付表示で撮影または再生できる状態になります。

メモ　時刻の表示形式は「日時設定」で設定します。



日付／時刻を変更する

初期設定で設定した日付と時刻を変更します。

1 「詳細設定」メニューの「日付設定」を選ぶ

2 十字キー（▶）で日付スタイルを切り替える

日時設定画面が表示されます。

日時の設定方法は「初期設定をする」(p.15)をご覧ください。

表示言語を変更する

メニューやエラーメッセージなどに表示される言語を変更します。

1 「詳細設定」メニューの「Language/言語」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

Language/言語設定画面が表示されます。

3 十字キー（▲▼）で言語を選ぶ

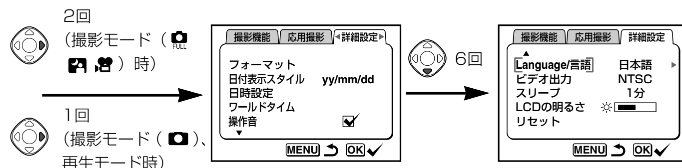
4 OKボタンを押す

設定した言語でメニュー画面が表示されます。

5 OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

設定



ビデオ出力形式を選択する

テレビをモニタにして撮影や再生をするときの出力形式をNTSC方式とPAL形式から選べます。

1 「詳細設定」メニューの「ビデオ出力」を選ぶ

2 十字キー（◀ ▶）でモニタにするテレビの出力方式に合わせて、「NTSC」「PAL」を切り替える

3 OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

メモ　日本国内では、NTSC方式です。

操作音をオン/オフする

操作音や動作音をオン/オフできます。

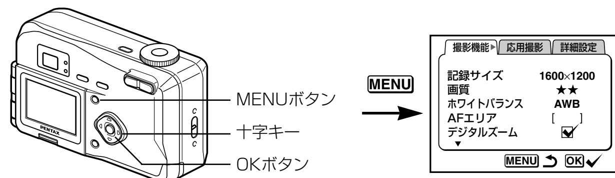
1 「詳細設定」メニューの「操作音」を選ぶ

2 十字キー（◀ ▶）で ☑（オン）と □（オフ）を切り替える

3 OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

設定



ワールドタイムを設定する

「初期設定をする」（p.15）で設定した日時は、「ホームタイム」として設定されます。撮影時および再生時に「ホームタイム」以外の都市の日時（ワールドタイム）を表示できます。

1 「詳細設定」メニューの「ワールドタイム」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

ワールドタイム設定画面が表示されます。



3 十字キー（◀ ▶）で ☑ （オン）と □ （オフ）を切り替える

☑ ワールドタイムで選択した国の時刻表示になります。

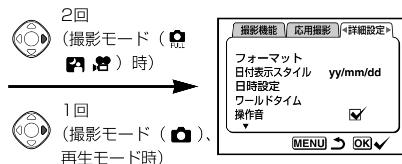
□ ホームタイムで選択した国の時刻表示になります。

4 十字キー（▼）を押す

選択枠が「ワールドタウン」の設定に移動します。

5 十字キー（◀ ▶）でワールドタウンを選び、十字キー（▼）を押す

選択枠が「サマータイム」の設定に移動します。



6 十字キー（◀ ▶）で「サマータイム」を切り替える

☼ ☑ サマータイムオン

☼ □ サマータイムオフ

7 十字キー（▼）を押す

選択枠が「ホームタイム」に移動します。

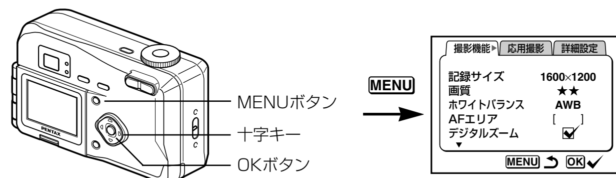
十字キー（◀ ▶）でホームタイムの都市や、「サマータイム」のオン/オフを変更できます。

8 OKボタンを押す

設定した都市の日時で撮影または再生できる状態になります。



指定できる都市および都市の記号名については、「都市名一覧」（p.108）をご覧ください。。



節電機能を設定する（スリープ）

一定時間操作しないときに、自動的に液晶モニタが消えるように設定できます。

1. 詳細設定」メニューの「スリープ」を選ぶ
2. 十字キー（◀ ▶）で「30s（30秒)」「1m(1分)」「2m(2分)」「OFF」を切り替える
3. OKボタンを押す

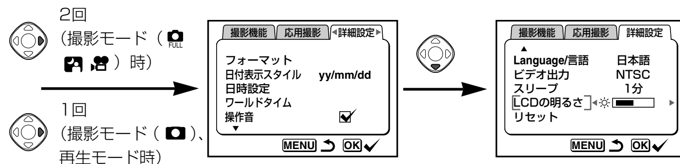
撮影または再生できる状態になります。

メモ
- 再生モード中は、節電機能は働きません。
- スライドショウで再生しているときや、USB接続しているときは節電機能は働きません。

オートパワーオフ

一定時間操作しないでカメラを放置した場合、自動的に電源がオフになります。

メモ
- 最後に操作してから3分後に電源がオフになります。
- メニュー画面を表示させてから1分間何も操作しないと、メニュー画面が終了します。



液晶モニタの明るさを設定できます。

1. 「詳細設定」メニューの「LCDの明るさ」を選ぶ
2. 十字キー（◀ ▶）で液晶モニタを見ながら、明るさを調整する

十字キー（◀）を押すと暗くなり、十字キー（▶）を押すと明るく,なります。

3. OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

設定をリセットする

日時設定、Language/言語、ビデオ出力、日時表示スタイル以外の設定内容をリセットします。

1. 「詳細設定」メニューの「リセット」を選ぶ
2. 十字キー（▶）を押す

リセット画面が表示されれます。

3. 十字キー（▲）で「リセット」を選ぶ
4. OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

都市名一覧

ワールドタイムで指定できる都市、および都市の記号名です。

PPG	パゴパゴ	THR	テヘラン
HNL	ホノルル	DXB	ドバイ
ANC	アンカレジ	KHI	カラチ
YVR	バンクーバー	KBL	カブール
SFO	サンフランシスコ	MLE	マーレ
LAX	ロサンゼルス	DEL	デリー
YYC	カルガリー	CMB	コロンボ
DEN	デンバー	KTM	カトマンズ
MEX	メキシコシティ	DAC	ダッカ
CHI	シカゴ	RGN	ヤンゴン
MIA	マイアミ	BKK	バンコク
YTO	トロント	KUL	クアラルンプール
NYC	ニューヨーク	VTE	ビエンチャン
SCL	サンティアゴ	SIN	シンガポール
CCS	カラカス	PNH	プノンペン
YHZ	ハリファックス	SGN	ホーチミン
BUE	ブエノスアイレス	JKT	ジャカルタ
SAO	サンパウロ	HKG	香港
RIO	リオデジャネイロ	PER	パース
MAD	マドリッド	BJS	北京
LON	ロンドン	SHA	上海
PAR	パリ	MNL	マニラ
MIL	ミラノ	TPE	台北
ROM	ローマ	SEL	ソウル
BER	ベルリン	ADL	アデレード
JNB	ヨハネスブルグ	TYO	東京
IST	イスタンブール	GUM	グァム
CAI	カイロ	SYD	シドニー
JRS	エルサレム	NOU	ヌーメア
MOW	モスクワ	WLG	ウェリントン
JED	ジッダ	AKL	オークランド

メッセージ一覧

カメラを使用中に、液晶モニタに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

空き容量がありません	CFカードに容量いっぱいの画像が保存されていて、これ以上画像を保存できません。新しいCFカードをセットするか、不要な画像を消去してください。(p.13、73) 画質または記録サイズを変えると保存できる可能性があります。(p.55、56)
画像がありません	CFカードに再生できる画像が保存されていません。
この画像を表示できません	このカメラでは再生できない画像を再生しようとしています。他社のカメラやパソコンでは表示できる場合があります。
プロテクトされています	プロテクトされている画像を消去しようとしています。(p.75)
カードが入っていません	カメラにCFカードがセットされていません。(p.13)
電池容量が無くなりました	電池残量がありません。ニッケル水素電池を充電するか、新しい電池と交換してください。(p.10)
電池容量がなくなりました 画像は保存できませんでした	保存の途中で電池容量がなくなったため、撮影できませんでした。ニッケル水素電池を充電するか、新しい電池とと交換して、もう一度撮影してください。(p.10)
カードが異常です	CFカードの異常で、撮影／再生ともにできません。パソコンでは表示できる場合があります。
カードがフォーマットされていません	フォーマットされていないCFカードがセットされているか、パソコンなどでフォーマットされたCFカードがセットされています。(p.100)
記録中です	画像をCFカードに記録しています。
設定を変更中です	画像のプロテクト設定やDPOF設定を変更しています。
フォーマット中	CFカードをフォーマット中です。

消去中です	画像を消去しています。
フォルダが作成できません	最大のファイルNo.が使用されているため、画像を保存できません。新しいCFカードをセットするか、CFカードをフォーマットしてください。(p.100)
3D撮影はTIFFモードでは撮影できません	画質を「TIFF」に設定していると、3D撮影はできません。他の画質を選択してください。

付録

こんなときは？

現象	原因	対処方法
電源が入らない	電池が入っていない	電池が入っているか確認し、入っていなければ入れてください。
	CFカードカバーが開いている	CFカードカバーを閉じてください。
	電池の入れかたを間違えている	電池の挿入方向を確認してください。電池室の⊕⊖表示にしたがって電池を入れなおしてください。(p.10)
	電池の残量がない	新しい電池をセットしてください。または、ACアダプタを使用してください。
液晶モニタに何も表示されない	液晶モニタがオフにセットされている	DISPLAYボタンを押すと、液晶モニタがオンになります。(p.32、p.70)
	テレビに接続している	テレビに接続しているときは、液晶モニタは常にオフになります。
	表示はされているが、確認しづらい	日中屋外での撮影は、液晶モニタが表示されていても、確認しづらいことがあります。液晶モニタの明るさを設定しなおしてください。(p.107)
シャッターが切れない	再生モードにセットされている	モードダイヤルをのいずれかにセットしてください。
	ストロボが充電中	ストロボランプが赤色に点滅している間は、ストロボが充電中で撮影できません。充電が完了すると赤色に点灯します。
	CFカードに空き容量がない	空き容量のあるCFカードをセットするか、不要な画像を消去してください。(p.13、73)
	書き込み中	書き込みが終了するまで待ってください。

付録

現象	原因	対処方法
ピントが合わない	オートフォーカスの苦手なものを撮影しようとしている	コントラストの低いもの（青空や白壁など）、暗いもの、細かい模様のもの、速く動いているもの、窓やネット越しの風景などは、オートフォーカスが苦手なものです。一旦撮りたいものと同じ距離にあるピントの合いやすいものにピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります。
	AFエリアに被写体が入っていない	液晶モニタ中央の四角枠内（AFエリア）に、ピントを合わせたいものを入れてください。撮りたいものが、AFエリアにない場合は、一旦撮りたいものをAFエリアに入れて、ピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります。
	被写体が近すぎる	フォーカスモードを にセットしてください。（p.50）
	フォーカスモードが になっている	フォーカスモードが にセットされているときは、通常の撮影域にはピントが合いません。
撮影した写真が暗い	撮るものまでの距離が遠い	撮るものまでの距離が遠すぎると、撮影した画像が暗くなります。ストロボの光がとどく範囲で撮影してください。
	背景が暗い	夜景など暗い背景で人物の写真を撮ると、人物は適正露出でも背景にはストロボの光がとどきませんので暗くなってしまうことがあります。 モードにセットして撮影すると、人物も夜景もきれいに撮ることができます。（p.35）
ストロボが発光しない	ストロボの発光方法が発光禁止になっている	オートまたは に設定してください。（p.33、p.53）
	撮影モードが にセットされているか、連続撮影、または遠景モードに設定されている	これらのモードではストロボは発光しません。

別売りアクセサリー一覧

本機には、別売りアクセサリーとして以下の製品が用意されています。

ACアダプタキット K-AC5J

USBケーブル I-USB2

ビデオケーブル I-VC2

カメラケース O-CC5

主な仕様

型式	ズームレンズ内蔵全自動コンパクトタイプデジタルスチルカメラ
有効画素数	200万画素
撮像素子	総画素数211万画素、原色フィルタ／インターライントランスファー1/2.7型CCD
記録画素数	静止画　1600 × 1210 ピクセル（TIFFのみ）、1600 × 1200 1024 × 768ピクセル、640 × 480ピクセル 動　画　320 × 240ピクセル
感度	オート、マニュアル（ISO100相当、ISO200相当）
記録方式	静止画　JPEG（Exif2.2）、TIFF、DCF準拠、DPOF対応 動　画　AVI（Open DML Motion JPEG準拠）、15フレーム/秒
画質	TIFF、S.ファイン、ファイン、エコノミー
記録媒体	コンパクトフラッシュ（CF）Type I

撮影枚数

画質 ／ 記録サイズ	TIFF	S.ファイン	ファイン	エコノミー	動画 (320x240)
1600 × 1210	2	–	–	–	30秒× 2
1600 × 1200	–	14	29	64	
1120 × 840	–	26	53	94	
640 × 480	–	53	94	133	

・表の数値は、16MBのCFカードを使用した場合の枚数

ホワイトバランス	オート、太陽光、日陰、白熱灯、蛍光灯、マニュアル
カラーモード	カラー、白黒、セピア
レンズ	焦点距離　5.8 mm～17.4 mm（35 mmフィルム換算：38～114 mm相当） F値　F2.6～F5.0 レンズ構成　5群6枚（両面非球面レンズ1枚使用） ズーム方式　電動式 撮影範囲　38.4mm×28.5mmを画面一杯に撮影可能（ワイド端でマクロモードおよびマニュアルフォーカス時） レンズバリア　電動式
デジタルズーム	撮影時：最大2.5倍（光学3倍ズームと合わせ、最大7.5倍ズーム相当のズーム倍率）
ファインダー	方式　実像式ズームファインダー 倍率　ワイド 0.41×、テレ 1.13×
液晶モニタ	1.6型TFDカラーLCD（バックライト/明るさ調整付） 180度回転機構付
再生機能	1コマ、インデックス（9画面）、拡大（最大4倍）、スクロール、スライドショウ、ムービー再生
オートフォーカス	方式　撮影素子によるTTLコントラスト検出方式 撮影範囲（レンズ前面から）　ノーマル：0.4 m～∞（ズーム全域） マクロ：0.1 m～0.5 m（ズーム全域） 遠景：∞（ズーム全域） フォーカスロック　シャッターボタン半押しによる
マニュアルフォーカス	0.1m～∞
露出機構	測光方式　撮像素子によるTTL測光（分割、中央部重点、スポット） 露出モード　オート、フル、夜景、動画 露出補正　±2EV（1/3EVステップで設定可能） 動画　撮影時間約1秒～約30秒
シャッター	型式　メカニカル併用電子シャッター 速度　約1/1500秒～約4秒
ストロボ	型式　赤目軽減機能付オートストロボ 発光モード　オート、発光禁止、強制発光、オート＋赤目軽減、強制発光＋赤目軽減 撮影範囲　ワイド　約0.7 m～約5.0 m（ISO200） テレ　約0.5 m～約2.7 m（ISO200）
ドライブモード	1コマ撮影、連続撮影、セルフタイマー撮影
セルフタイマー	電子制御式、作動時間：約10秒
時計機能	ワールドタイム設定 世界62都市に対応（28タイムゾーン）
電源	リチウム電池CR-V3、単3型電池2本（アルカリ、ニッケル水素、リチウム）、ACアダプタキット（別売）
入出力ポート	USB/ビデオ端子（PC通信方式 USB1.1）、外部電源端子
ビデオ出力方式	NTSC/PAL
大きさ	103.5（幅）× 63.5（高）× 42（厚）mm （操作部材除く）
質量	180 g（バッテリー、CFカード含まず）
撮影時質量	230 g（電池、CFカード含む）
付属品	リチウム電池CR-V3、3Dイメージビュワー、USBケーブル、ソフトウェア（CD-ROM）、ビデオケーブル、ストラップ、使用説明書

付録

アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料修理致しますので、お買い上げ店か使用説明書に記載されているお客様相談センター、または最寄りの当社サービス窓口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口に直接お持ちください。修理品ご送付の場合は、化粧箱などを利用して、輸送中の衝撃に耐えるようしっかりと梱包してお送りください。不良見本のサンプルや故障内容の正確なメモを添付していただけると原因分析に役立ちます。

2. 保証期間中[ご購入後1年間]は、保証書[販売店印および購入年月日が記入されているもの]をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様にご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。

3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
   - 使用上の誤り（使用説明書記載以外の誤操作等）により生じた故障。
   - 当社の指定する修理取扱い所以外で行われた修理・改造・分解による故障。
   - 火災・天災・地変等による故障。
   - 保管上の不備（高温多湿の場所、防虫剤の入った場所での保管等）や手入れの不備（泥・砂・ホコリ・水かぶり・ショック等）による故障。
   - 保証書の添付のない場合。
   - 販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合。

4. 保証期間以後の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。

5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後5年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受け致します。なお、期間以後であっても修理可能の場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。

6. 海外旅行をされる場合は、国際保証書をお持ちください。国際保証書は、当社サービス窓口でお持ちの保証書と交換に発行しております。[保証期間のみ有効]

7. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

メモ

お客様窓口のご案内

ペンタックス　ホームページアドレス http;//www.pentax.co.jp/
お客様相談センター（弊社製品に関するお問い合わせ）
〒174-8639 東京都板橋区前野町2-36-9
営業時間 午前9：00〜午後6：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）
0570-001313（市内通話料でご利用いただけます。）
携帯電話、PHSの方は、下記の電話番号をご利用ください。
☎ 03(3960)3200㈹　☎ 03(3960)0887 デジタルカメラ専用

[ショールーム・写真展・修理受付]

ペンタックスフォーラム　☎ 03(3348)2941㈹
〒163-0401 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル1階(私書箱240号)
営業時間 午前10：30〜午後6：30（年末年始および三井ビル点検日を除き年中無休）

[修理受付]

ペンタックス 札幌営業所お客様窓口　☎ 011(612)3231㈹
〒060-0010 札幌市中央区北10条西18-36 ペンタックス札幌ビル2階
営業時間 午前9：00〜午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス 仙台営業所お客様窓口　☎ 022(371)6663㈹
〒981-3133 仙台市泉区泉中央1-7-1 千代田生命泉中央駅ビル5階
営業時間 午前9：00〜午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス 名古屋営業所お客様窓口　☎ 052(962)5331㈹
〒461-0001 名古屋市東区泉1-19-8 ペンタックスビル3階
営業時間 午前9：00〜午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス 広島営業所お客様窓口　☎ 082(234)5681㈹
〒730-0851 広島市中区榎町2-15 榎町ビュロー3階
営業時間 午前9：00〜午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス 福岡営業所お客様窓口　☎ 092(281)6868㈹
〒810-0802 福岡市博多区中洲中島町3-8 パールビル2階
営業時間 午前9：00〜午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

[直送修理受付・修理に関するお問い合わせ]

ペンタックスサービス㈱ 東日本修理センター　☎ 03(3975)4341㈹
〒175-0082 東京都板橋区高島平6-6-2 旭光学工業㈱流通センター内
営業時間 午前9：00〜午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックスサービス㈱ 西日本修理センター　☎ 06(6271)7996㈹
〒542-0081 大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2階
営業時間 午前9：00〜午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）



旭 光 学 工 業 株 式 会 社
〒174-8639　東京都板橋区前野町2-36-9
ペンタックス販売株式会社
〒100-0014　東京都千代田区永田町1-11-1

☆この説明書には再生紙を使用しています。
☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

57171　01-200204